
令和 5 年度 事業報告書

(令和 5 年 4 月 1 日～令和 6 年 3 月 31 日)

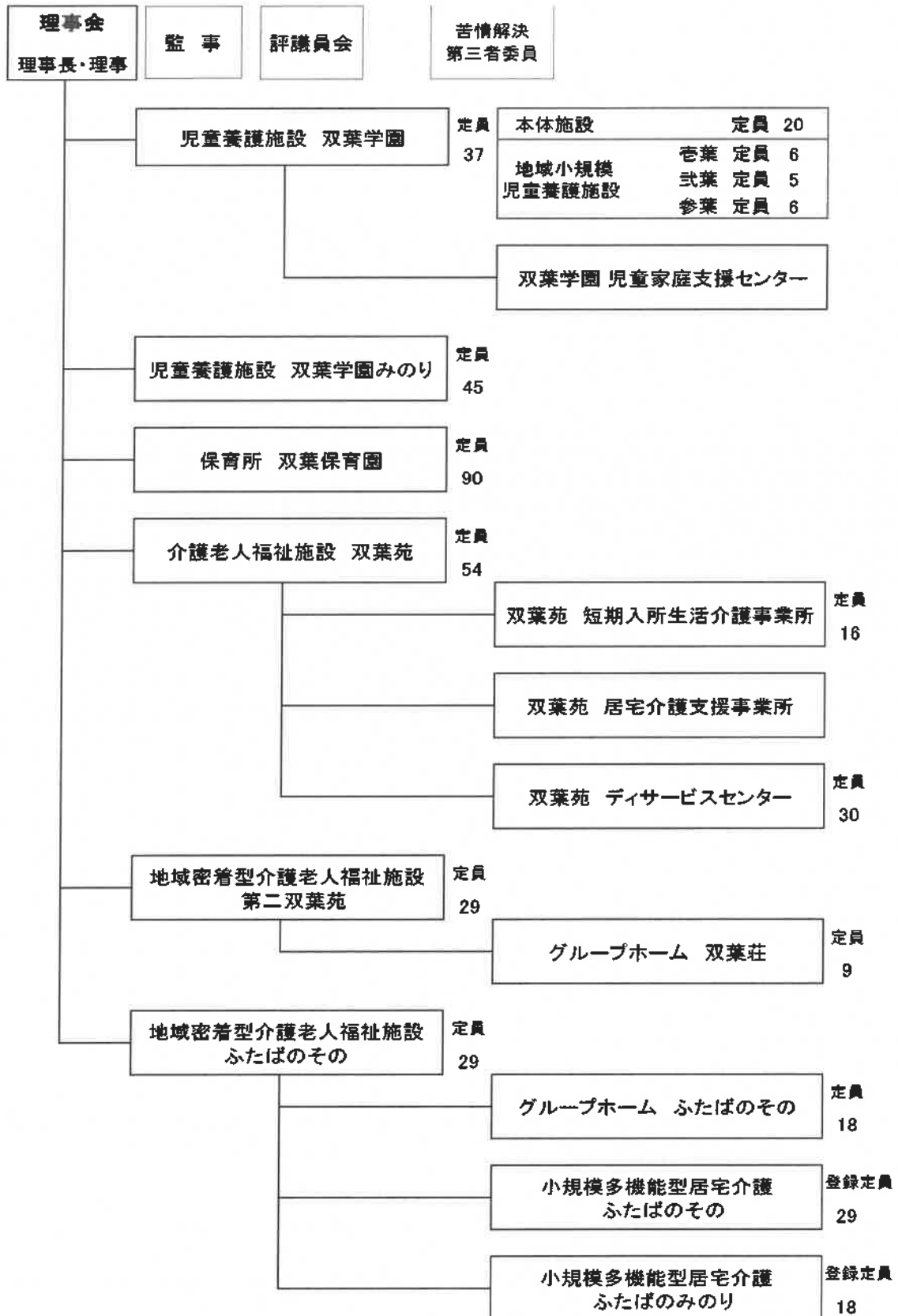
目 次

	社会福祉法人 双葉会 組織図	・・・ 1 頁
1	概要	・・・ 2 頁
2	施設の利用状況	・・・ 8 頁
3	事業計画の取組結果	・・・ 13 頁
4	理事会・評議員会の開催状況	・・・ 32 頁
5	行事等の実施状況	・・・ 35 頁
6	事故及びヒヤリハットの状況	・・・ 49 頁
7	苦情及び要望の状況	・・・ 51 頁
8	各種会議の開催状況	・・・ 55 頁
9	各種委員会の活動状況	・・・ 59 頁
10	職員研修の実施状況	・・・ 75 頁
11	施設整備の状況	・・・ 86 頁

令和6年6月
社会福祉法人 双葉会

社会福祉法人 双葉会 組織図

令和6年4月1日現在



1 概 要

(1) マネジメントサイクルに沿った経営

社会福祉法人「双葉会」は昭和20年9月に前身である戦災孤児収容所を設立し、昭和28年10月に設立認可を受けた歴史のある法人です。

「地域に根ざした福祉サービスを提供いたします。」をモットーに地域の福祉の核として、子供から年長者までのトータルな福祉サービスを提供しています。

令和5年度は、4年度に策定した中長期計画の中間年度です。児童・利用者等のニーズや各事業所の課題に対応した事業計画を策定し、計画に基づき事業を推進することにしました。

その結果、PDCAのマネジメントサイクルによる事業の推進は定着しつつあり、計画通りに事業が進められ、概ね事業目的が達成されました。なお、一部、達成までに至らなかった計画がありました。

主な、原因としては、事業推進に当たっての、Cの評価（年度途中での振り返りや見直し）がきちんとは行われていないことにあります。PDCAは施設長のみが行うのではなく、組織活動のあらゆる階層や職種で展開され、Cは、日常の業務活動を実施している職場や職員個人として評価を行なうものです。計画と実行の段階における情報収集を十分に行ない、評価を行えば（評価がうまくいけば）実効性のある改善策が打ち出せます。不十分な評価で改善を行なってもよい結果にはなりません。

今一度、職員や管理職がそれぞれの立場でPDCAを徹底することが必要です。

(2) 利用者数について

ア 児童養護施設の双葉学園は、定員45人から暫定定員を得て、定員37人でスタートしました。被措置児童数は、双葉学園が月平均35.3人（充足率95.4%）、双葉学園みのりは、定員45人で月平均43.2人（充足率95.9%）となりました。施設のケア単位の小規模化は必要ですが、これ以上定員の切り下げがないよう、一時保護の積極的な受け入れを行うことが必要です。

また、両施設の措置児童のうち70.0%がいわゆる被虐待児です。なお、双葉学園は、「新しい社会的養育ビジョン」を受け、出来る限り良好な家庭的環境で養育するため小規模かつ地域分散化を進めており、双葉学園みのりについても、地域分散化を進めます。

今後も、地域の社会的養育を支える専門的な拠点として、職員の育成や確保に努めていきます。

初日在籍者数(年度平均)

	在籍者数				利用率(%)			
	2年度	3年度	4年度	5年度	2年度	3年度	4年度	5年度
双葉学園	27.7	26.8	31.2	35.3	61.4	59.4	69.2	95.4
双葉学園みのり	41.6	36.9	39.5	43.2	92.4	82.0	87.7	95.9

イ 児童家庭支援センターの相談実人数は、401人で新規相談者が50人増加したため増えています。北九州市が「わいわい子育て相談（子どもの心やからだ発達や子育ての不安に関する相談（センターも参加））」を実施していますが、相談希望者が多く、市で相談に対応できない方の相談を受けているためです。

育成に関する相談が38.3%、養護に関する相談が39.9%でした。育成に関する相談のうち、不登校は減少しましたが、心やからだの発達に関する相談が増加しています。

引き続き、相談者へ助言等を行い、地域の児童、家庭の福祉の向上を図ります。

相談件数

	相談実人数				相談延件数			
	2年度	3年度	4年度	5年度	2年度	3年度	4年度	5年度
児童家庭支援センター	488	573	318	401	2,225	3,181	1,931	1,850

ウ 双葉保育園は、令和5年4月は、職員の不足（職員配置基準は満たしている。）や4年度にコロナ禍により見学者の制限をしたことなどにより、入園児69名でスタートしました。途中で職員が採用でき、入園児も増えてましたが、退園時が多かったことから、結果的に利用率は77.8%で、大幅に低下しました。園児の確保のため、ホームページやSNSを活用した情報発信をすすめ、施設の認知に努めます。

多様化する保育ニーズに対応するための延長保育や障害児保育を実施しました。今後も、多様なニーズに応えながら、子どもの健やかな成長を支える質の高い保育を提供するとともに、保育所の機能を生かした地域の子育て支援を行います。

初日在園者数（年度平均）

	在園者数				利用率（%）			
	2年度	3年度	4年度	5年度	2年度	3年度	4年度	5年度
双葉保育園	97.4	85.2	83.2	70.1	108.2	94.6	92.4	77.8

エ 高齢者施設の利用率は、従来型の特養「双葉苑」は、92.7%で、ユニット型の「第二双葉苑」は95.7%、「ふたばのその」は85.5%です。新型コロナウイルス感染症の第5類移行に伴い利用者は増加しています。

ディサービスセンターの利用率は58.7%で、4年度と同水準であり、コロナ禍のため、営業活動を自粛した影響が強く、回復までには至りません。

短期入所生活介護の利用率は71.4%で、4年度、5年度と上昇しており、コロナ対策による受け入れ制限は行わなかったためです。

グループホーム双葉荘（定員9人）の利用率は64.6%、グループホームふたばのその（定員18人）の利用率は60.3%で、令和4年度の全国平均（94.7%）よりかなり低く、営業戦略の再構築による利用者の確保が急務

です。

小規模多機能居宅介護の利用率は特養と比べると低い状況です。「ふたばのその」の通所の利用率は69.3%、宿泊は50.8%です。「ふたばのみのり」の通所の利用率は61.1%、宿泊は52.4%で、回復の兆が見えます。

高齢者施設は、措置施設と違い利用施設（契約施設）ですので、営業努力や質の高いサービスを提供することにより利用率の向上が見込まれます。新型コロナウイルス感染症が5類に移行したとはいえ、終息したと言える状況ではありませんので、引き続き感染症対策を徹底するとともに、魅力ある施設づくりを行い、利用率の向上に取り組みます。

延べ利用者数及び利用率（高齢者施設）

		延べ利用者数				利用率（%）			
		2年度	3年度	4年度	5年度	2年度	3年度	4年度	5年度
介護老人福祉施設 双葉苑		19,109	18,642	17,618	18,333	96.9	94.5	89.3	92.7
双葉苑 短期入所生活介護事業所		2,585	3,693	3,716	4,183	44.2	63.2	63.6	71.4
双葉苑 ディサービスセンター		7,776	6,791	5,493	5,477	83.2	73.0	59.4	58.7
双葉苑 居宅介護支援事業所		698	703	732	681				
地域密着型介護老人福祉施設		10,025	9,987	8,913	10,160	94.7	94.3	84.2	95.7
グループホーム 双葉荘		2,618	2,478	2,672	2,125	79.6	75.4	81.3	64.6
地域密着型介護老人福祉施設		9,443	9,464	8,723	9,081	89.2	89.4	82.4	85.5
グループホーム ふたばのその		6,144	5,980	5,223	3,978	93.4	91.0	79.4	60.3
小規模多機能型居宅介護 ふたばのその	通所	3,624	4,394	3,909	4,572	55.1	66.8	59.4	69.3
	宿泊	1,060	1,222	1,029	1,304	36.3	41.8	35.2	50.8
	訪問	711	1,123	939	1,533				
小規模多機能型居宅介護 ふたばのみのり	通所	2,151	2,864	2,746	2,680	49.1	65.3	62.6	61.1
	宿泊	1,134	1,424	1,057	1,148	51.7	65.0	48.2	52.4
	訪問	817	839	495	367				

(3) 社会福祉事業収支の状況

社会福祉事業の事業活動計算書による令和5年度のサービス活動収益（収入）は約14億4,150万円で、令和4年度に比べ7%増となりました。

サービス活動増減差額（本業（福祉サービス）での利益）は約8,646万円で4年度に比べ7,204万円の増で3年度の額を超え、増加に転じました。

サービス活動増減差額比率（収益性）は、5.9%です。人件費は、2,619万円の増で、年々増加しています。

定員という制度の仕組み上、収入は将来的には頭打ちとなります。今後も、新規利用者等の確保に取り組むとともに、利用者へ提供するサービスの質の向上のためにも加算の取得・維持に向けての努力を続けます。

また、事務事業を見極め、コストを削減し限られた財源を有効に活用します。

経営状況（社会福祉事業）

単位：万円、%

		法人計（社会福祉事業）					全国社福
		2年度	3年度	4年度	5年度	前年比	4年度
サービス活動収益	①	130,179	130,361	133,582	144,150	107%	
サービス活動費用	②	121,002	122,250	132,140	135,504	102%	
サービス活動増減差額	①－②＝③	9,177	8,111	1,442	8,646	599%	
サービス活動収益対 サービス活動増減差額比率	③/①	7.0	6.2	1.0	5.9	590%	1.7
サービス活動費用の内訳	人件費	85,051	88,112	96,561	99,180	102%	
	事業費	21,982	21,983	22,749	21,649	95%	
	事務費	9,051	7,662	8,342	10,292	123%	
	人件費率	65.3	67.5	72.2	68.8	95%	67.3

個別の施設で見ると、サービス活動増減差額比率（収益性）は、拠点区分では4区分がプラスで、双葉学園みのり、ふたばのそのは、高い水準です。保育園や双葉苑はマイナス（いわゆる赤字）となりました。

サービス活動増減差額がマイナス（いわゆる赤字）は、サービス区分で見ますと、14事業所のうち4事業所となりました。（4年度は8事業所、3年度は5事業所）双葉保育園、双葉苑・ディサービスセンター、双葉苑・居宅介護支援事業所、グループホーム双葉荘です。特に、双葉保育園は、園児減により急激に悪化しています。

令和4年度の全国調査では、社会福祉法人全体の経営状況は悪化傾向であり、赤字施設（経常増減差額が0未満）の割合は、保育園26.7%、特養：従来型48.1%、特養：ユニット型34.5%、ディサービス49.6%、グループホーム35.6%、小規模多機能40.4%と、グループホームを除いて増加しています。

赤字の社会福祉法人は、35.7%（令和3年度31.3%）で、経営が悪化した

主な要因は、経費率の上昇であり、経費率の上昇は、昨今の物価高騰による影響であるとのことです。

黒字法人と赤字法人を分けるポイントは、人件費に見合った収益の確保にあります。公益性に根ざした事業活動を可能とするためには、適正な収益を確保し、安定的かつ自立した財務基盤の確立が必要です。財務指標に基づく経営分析等により、財務状況を把握し透明性の高い財務管理を行います。

各施設（拠点区分）経営状況（5年度）

単位：万円、%

	本部	双葉学園	双葉学園 みのり	児童家庭 センター	双葉保育 園	双葉苑	第二双葉 苑	ふたばの その
サービス活動収益	74	28,285	28,577	1,017	9,375	30,918	17,155	28,820
サービス活動費用	920	26,373	23,041	1,013	11,112	31,348	16,462	25,214
サービス活動増減差額 (4年度)	▲ 846 ▲ 1,017	1,912 2,702	5,536 2,776	4 ▲ 1	▲ 1,737 ▲ 393	▲ 430 ▲ 4,297	693 ▲ 1,069	3,606 2,736
サービス活動収益対 サービス活動増減差額比 率	(5年度) (4年度)	6.7 10.5	19.3 10.4	0.3 0.0	▲ 18.5 ▲ 4.0	▲ 1.3 ▲ 15.3	4.0 ▲ 7.0	12.5 9.9
サービス活動 費用の内訳	人件費	19,131	17,448	960	8,287	21,785	11,261	18,826
	事業費	4,004	3,709	24	1,360	6,051	2,952	3,687
	事務費	2,817	1,038	29	1,107	2,810	1,093	1,250
	人件費率	—	67.6	61.0	94.3	88.3	70.4	65.6

4年度 経営実態調査（全国）

	保育所	従来型特 養	ユニット型特養
サービス活動収益対 サービス活動増減差額比率	4.3	0.3	4.1
人件費率	72.7	65.7	62.9

高齢者施設各サービス区分経営状況（5年度）

単位：万円、%

	双葉苑拠点区分				第二双葉苑拠点区分		ふたばのその拠点区分			
	特養・ 双葉苑	短期入所	デイサー ビス	居宅介護	特養・第 二双葉苑	グループ ホーム双 葉荘	特養・ ふたばの その	グループ ホームふた ばのその	小多・ ふたばの その	小多・ ふたばの みのり
サービス活動収益	21,198	4,282	4,680	757	14,040	3,114	12,132	5,897	7,208	3,581
サービス活動費用	20,673	4,137	5,550	988	13,146	3,316	11,454	5,534	4,885	3,340
サービス活動増減差額 (4年度)	525 ▲ 2,983	145 ▲ 74	▲ 870 ▲ 915	▲ 231 ▲ 329	894 ▲ 1,050	▲ 202 ▲ 20	678 48	363 1,587	2,323 780	241 320
サービス活動収益対 サービス活動増減差額 比率	(5年度) (4年度)	2.4 ▲ 15.6	3.3 ▲ 1.9	▲ 18.5 ▲ 19.9	▲ 30.5 ▲ 47.0	6.3 ▲ 9.1	▲ 6.4 ▲ 0.5	5.5 0.4	6.1 22.3	32.2 13.8
サービス活動 費用の内訳	人件費	13,812	2,846	4,137	988	8,874	2,386	7,888	4,480	4,224
	事業費	4,024	824	1,202	0	2,345	606	2,023	746	444
	事務費	2,274	465	69	0	1,013	79	1,056	69	62
	人件費率	65.1	66.4	88.3	130.5	63.2	76.6	65.0	75.9	58.6

(4) コンプライアンス（法令遵守）の徹底と組織統治（ガバナンス）の確立

本法人は、令和元年度から事業計画の経営の方針（目標）として「コンプライアンス（法令遵守）の徹底と組織統治（ガバナンス）の確立」を掲げ経営を行ってきました。令和5年度の北九州市の指導監査では、双葉学園みのりを除く5事業所及び法人について「是正改善を指示する事項は認められない。」との監査結果通知がありました。

今後も、理事会・評議員会・監事などの組織統治体制を確立するとともに、それらの役割を認識し経営を行います。また、社会的ルールを遵守し、また、社会に対して十分な説明責任を果たすため、公正かつ適正な経営を可能とする組織統治（ガバナンス）を行います。

2 施設の利用状況

(1) 児童養護施設 双葉学園

月別初日在籍児童数 定員 37

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	5年1月	2月	3月	月平均	4年度平均
幼児	6	6	7	7	7	7	7	7	7	9	9	9	7.3	6.1
小学生	15	15	16	16	16	15	15	15	15	15	15	15	15.3	14.0
中学生	3	3	3	3	4	4	4	4	4	5	5	5	3.9	3.7
高校生	10	10	10	10	9	9	8	8	8	8	8	8	8.8	6.3
社会人	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	1.1
合計	34	34	36	36	36	35	34	34	34	37	37	37	35.3	31.2
利用率	91.8%	91.8%	97.2%	97.2%	97.2%	94.5%	91.8%	91.8%	91.8%	100.0%	100.0%	100.0%	95.4%	69.2%

養護問題発生理由 (令和5年3月1日現在)

区 分	男子	女子	計	5年3月
父母の死亡				1
父母の行方不明				
父母の離婚				
父母の不和				1
父母の拘禁	1	1	2	2
父母の入院				
父母の就労				
父母の精神障害	5	3	8	9
父母の放任怠情				3
父母の虐待	9	8	17	11
遺棄				
父母の養育拒否				1
破産等経済的理由		2	2	
その他	6	2	8	7
計	21	16	37	35

(2) 児童養護施設 双葉学園みのり

月別初日在籍児童数 定員 45

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	5年1月	2月	3月	月平均	4年度平均
幼児	3	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	3.9	3.0
小学生	15	15	15	16	16	16	16	16	16	16	16	16	15.8	13.9
中学生	12	13	13	13	14	14	13	13	13	13	13	13	13.1	11.8
高校生	12	12	11	11	10	10	10	10	10	10	10	9	10.4	9.8
社会人	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	1.0
合計	42	44	43	44	44	44	43	43	43	43	43	42	43.2	39.5
利用率	93.3%	97.7%	95.5%	97.7%	97.7%	97.7%	95.5%	95.5%	95.5%	95.5%	95.5%	93.3%	95.9%	87.1%

養護問題発生理由 (令和5年3月1日現在)

区 分	男子	女子	計	5年3月
父母の死亡				
父母の行方不明				
父母の離婚				
父母の不和				
父母の拘禁				3
父母の入院				
父母の就労				3
父母の精神障害	2	1	3	5
父母の放任怠情	2	2	4	4
父母の虐待	2	4	6	3
遺棄				1
父母の養育拒否	16	14	29	
破産等経済的理由				24
その他				
計	21	21	42	43

(3) 双葉学園 児童家庭支援センター

月別相談実人数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	5年1月	2月	3月	5年度計	4年度
新規受理人数	30	13	14	8	11	6	11	9	5	3	5	12	127	77
継続相談人数	0	23	28	22	31	27	24	17	31	16	13	42	274	241
相談実人数	30	36	42	30	42	33	35	26	36	19	18	54	401	318
延べ相談件数	196	260	275	169	176	156	82	95	125	112	52	152	1,850	1,931

相談・指導内容の種別延件数

養 護	虐待(再)	保 健	障 害	非 行	育 成				いじめ	DV	その他	合計
					性格行動	不登校	適 性	しつけ				
739	11	50	203	30	189	436	36	50	2	6	109	1,850

(4) 保育所 双葉保育園

定員 90

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	5年1月	2月	3月	月平均	4年度平均
0歳児	4	5	5	6	6	6	7	8	9	10	10	10	7.2	5.8
1歳児	9	9	9	10	10	10	10	10	10	11	11	12	10.1	11.0
2歳児	9	8	8	8	8	8	7	7	7	6	6	6	7.3	14.0
3歳児	14	13	13	12	12	13	13	12	12	12	12	12	12.5	17.0
4歳児	16	16	16	16	16	16	16	16	16	16	16	16	16.0	16.3
5歳児	17	17	17	17	17	17	17	17	17	17	17	17	17.0	19.0
合計	69	68	68	69	69	70	70	70	71	72	72	73	70.1	83.2
利用率	76.6%	75.5%	75.5%	76.6%	76.6%	77.7%	77.7%	77.7%	78.8%	80.0%	80.0%	81.1%	77.8%	92.4%

(5) 介護老人福祉施設 双葉苑

定員 54

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	5年1月	2月	3月	5年度計	4年度計
要介護1	5	4	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	39	19
要介護2	1	1	1	1	2	2	2	2	2	2	3	3	22	18
要介護3	13	14	15	15	15	15	15	14	16	17	15	16	180	137
要介護4	15	17	17	16	15	15	14	15	16	13	14	14	181	214
要介護5	16	17	16	19	18	17	17	17	17	16	15	14	199	215
合計	50	53	52	54	53	52	51	51	54	51	50	50	621	603
延べ定員	1,620	1,674	1,620	1,674	1,674	1,620	1,674	1,620	1,674	1,674	1,566	1,674	19,764	19,710
延べ利用者数	1,463	1,581	1,521	1,615	1,581	1,496	1,581	1,530	1,583	1,529	1,401	1,452	18,333	17,618
利用率	90.3%	94.4%	93.8%	96.4%	94.4%	92.3%	94.4%	94.4%	94.5%	91.3%	89.4%	86.7%	92.7%	89.3%

(6) 双葉苑短期入所生活介護事業所

定員 16

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	5年1月	2月	3月	5年度計	4年度計
延べ定員	480	496	480	496	496	480	496	480	496	496	464	496	5,856	5,840
延べ利用者数	388	385	349	300	323	361	349	346	375	291	354	362	4,183	3,716
利用率	80.8%	77.6%	72.7%	60.4%	65.1%	75.2%	70.3%	72.0%	75.6%	58.6%	76.2%	72.9%	71.4%	63.6%

(7) 双葉苑デイサービスセンター

定員 30

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	5年1月	2月	3月	5年度計	4年度計
営業日数	25	27	26	26	27	26	26	26	26	25	25	26	286	283
延べ定員	750	810	780	780	810	780	780	780	780	750	750	780	9,330	9,240
延べ利用者数	408	462	481	485	470	451	468	506	446	413	440	447	5,477	5,493
利用率	54.4%	57.0%	61.6%	62.1%	58.0%	57.8%	60.0%	64.8%	57.1%	55.0%	58.6%	57.3%	58.7%	59.4%

(8) 双葉苑居宅介護支援事業所

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	5年1月	2月	3月	5年度計	4年度計
利用者数	57	58	63	62	61	62	62	62	64	59	64	66	681	732

(9) 地域密着型介護老人福祉施設 第二双葉苑

定員 29

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	5年1月	2月	3月	5年度計	4年度計
要介護1	2	2	1	1	1	1	1	1	1	1	1	0	13	53
要介護2	5	4	4	5	5	5	5	5	5	5	5	6	59	39
要介護3	4	4	6	5	5	5	4	4	4	4	4	5	54	42
要介護4	11	11	12	13	13	12	12	12	12	12	12	10	142	106
要介護5	4	5	5	5	5	6	7	7	7	7	7	8	73	69
合計	26	26	28	29	29	29	29	29	29	29	29	29	341	309
延べ定員	870	899	870	899	899	870	899	870	899	899	841	899	10,614	10,585
延べ利用者数	732	806	808	874	866	834	896	850	899	899	818	873	10,160	8,913
利用率	84.1%	89.6%	92.8%	97.2%	96.3%	95.8%	99.6%	97.7%	100.0%	100.0%	97.2%	97.6%	95.7%	84.2%

(10) グループホーム 双葉荘

定員 9

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	5年1月	2月	3月	5年度計	4年度計
要支援2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要介護1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	3	14	3
要介護2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要介護3	2	2	2	2	2	2	2	2	1	2	2	1	22	33
要介護4	2	2	2	2	1	1	1	1	1	1	1	1	16	26
要介護5	2	2	2	2	2	2	2	1	1	1	1	1	19	27
合計	7	7	7	7	6	6	6	5	4	5	5	6	71	89
延べ定員	270	279	270	279	279	270	279	270	279	279	252	279	3,285	3,285
延べ利用者数	210	217	210	217	187	186	186	147	124	139	145	157	2,125	2,672
利用率	77.7%	77.7%	77.7%	77.7%	67.0%	68.8%	66.6%	54.4%	44.4%	49.8%	57.5%	56.2%	64.6%	81.3%

(11) 地域密着型介護老人福祉施設 ふたばのその

定員 29

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	5年1月	2月	3月	5年度計	4年度計
要介護1	3	2	3	2	2	2	1	2	2	2	3	2	26	35
要介護2	5	5	5	6	6	6	5	6	6	6	6	5	67	47
要介護3	12	12	10	10	9	9	11	10	11	11	10	10	125	135
要介護4	5	6	5	5	4	4	4	4	4	4	5	6	56	60
要介護5	1	1	2	2	3	3	3	3	3	4	3	4	32	12
合計	26	26	25	25	24	24	24	25	26	27	27	27	306	289
延べ定員	870	899	870	899	899	870	899	870	899	899	841	899	10,614	10,585
延べ利用者数	806	766	728	751	725	700	760	733	775	818	763	756	9,081	8,723
利用率	92.6%	85.2%	83.6%	83.5%	80.6%	80.4%	84.5%	84.2%	86.2%	90.9%	90.7%	84.0%	85.5%	82.4%

(12) グループホーム ふたばのその

定員 18

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	5年1月	2月	3月	5年度計	4年度計
要支援2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要介護1	1	1	1	1	2	2	1	1	1	2	2	1	16	27
要介護2	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	2	13	37
要介護3	5	5	4	3	2	2	2	1	2	3	3	3	35	48
要介護4	1	1	1	1	2	2	3	3	3	3	3	3	26	28
要介護5	3	3	4	4	4	5	5	4	4	4	4	4	48	35
合計	11	11	11	10	11	12	12	10	11	13	13	13	138	175
延べ定員	540	558	540	558	558	540	558	540	558	558	522	558	6,588	6,570
延べ利用者数	330	331	315	300	319	342	321	300	313	371	354	382	3,978	5,223
利用率	61.1%	59.3%	58.3%	53.7%	57.1%	63.3%	57.5%	55.5%	56.0%	66.4%	67.8%	68.4%	60.3%	79.4%

(13) 小規模多機能型居宅介護 ふたばのその

通所 定員 18

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	5年1月	2月	3月	5年度計	4年度計
営業日数	30	31	30	31	31	30	31	30	31	31	29	31	304	334
延べ定員	540	558	540	558	558	540	558	540	558	558	522	558	6,588	6,570
延べ利用者数	356	428	412	412	366	367	418	390	364	368	381	310	4,572	3,909
利用率	65.9%	76.7%	76.2%	73.8%	65.5%	67.9%	74.9%	72.2%	65.2%	65.9%	72.9%	55.5%	69.3%	59.4%

宿泊 定員 8

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	5年1月	2月	3月	5年度計	4年度計
延べ定員	240	248	240	248	248	240	186	180	186	186	174	186	2,562	2,920
延べ利用者数	96	116	116	120	114	100	111	105	104	114	108	100	1,304	1,029
利用率	40.0%	46.7%	48.3%	48.3%	45.9%	41.6%	59.6%	58.3%	55.9%	61.2%	62.0%	53.7%	50.8%	35.2%

訪問

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	5年1月	2月	3月	5年度計	4年度計
延べ利用者数	114	167	175	125	116	138	149	104	109	116	110	110	1,533	939

(14) 小規模多機能型居宅介護 ふたばのみのり

通 所 定員 12

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	3年1月	2月	3月	5年度計	4年度計
営業日数	30	31	30	31	31	30	31	30	30	31	29	31	303	365
延べ定員	360	372	360	372	372	360	372	360	360	372	348	372	4,380	4,380
延べ利用者数	180	229	192	199	203	204	211	232	247	241	250	292	2,880	2,746
利用率	50.0%	61.5%	53.3%	53.4%	54.5%	56.6%	56.7%	64.4%	68.6%	64.7%	71.8%	78.4%	61.1%	62.6%

宿 泊 定員 6

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	5年1月	2月	3月	5年度計	4年度計
延べ定員	180	186	180	186	186	180	186	180	180	186	174	186	2,190	2,190
延べ利用者数	68	90	71	53	56	59	84	117	161	126	125	138	1,148	1,057
利用率	37.7%	48.3%	39.4%	28.4%	30.1%	32.7%	45.1%	65.0%	89.4%	67.7%	71.8%	74.1%	52.4%	48.2%

訪 問

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	5年1月	2月	3月	5年度計	4年度計
延べ利用者数	30	26	22	31	33	35	39	51	21	12	23	44	367	495

3 事業計画の取組結果

施設別に策定された事業計画(経営の計画)に基づき、事業を実施しました。引き続き、評価(年度途中での振り返りや見直し)及び進行管理を徹底します。

(1) 児童養護施設 双葉学園

項 目		具体的な取り組み結果
ア 小規模かつ地域分散化の推進	整備計画に基づく分散化の促進	① 地域小規模児童養護施設「式葉」「参葉」を開設(9月1日)し、式葉(児童5名、職員5名)、参葉(児童6名、職員6名)による地域小規模での生活が始まる。 ② 12月から、施設の高機能・多機能への機能転換を目的に施設改築工事を開始する。(完成予定は令和6年10月末) ③ 地域小規模推進会議を幹部職員及びユニット・分園リーダーで構成したリーダー会議へ移行し、情報交換や現状報告を行った。
イ 虐待の防止と職員の育成	児童への性教育・人権教育の実施	① 6・12月に実施した性教育の結果、児童間でのトラブルが減り、性に対する意識が高まった。 ② 9月に実施した人権学習では、他人を思いやる、年下の児童や弱者への労りの心が芽生えてきた。
	職員の処遇スキルと倫理意識の向上	① 人権擁護のためのチェックリストの実施(6・11月)により、職員の質の向上、更に自覚も芽生えてきた。 ② OJT、OFF-JTについては、園内及び県・北養協研修にて実施し、施設内にて伝達研修を行い、職員のスキル向上と倫理意識の向上に繋がった。 ③ 園長による職員面談の実施(12月～1月)、ヒヤリングによるストレスの軽減、やりがいを感じる職場へと繋がった。
ウ 支援の質の向上	自己評価の実施及び改善	① 自己評価の実施(6～7月)をしたことで、スキルの向上へと繋がった。 ② 第三者評価受審(3月) ③ 自己評価実施結果に基づいた改善(通年)、幹部職員からリーダー会議、職員会議及び各種委員会会議にて周知した。 ④ 専門職(心理療法担当職員は除く)等が関わっての自立支援計画書の見直し(9月)を行い、新たな支援の計画を立て、支援に努めた。

エ モニタリングの実施	基本方針に基づくモニタリングの実施	① 基本方針に基づいた運営（通年）を基に年間の事業遂行に努めた。 ② 施設運営状況の自己チェック（通年）を行い、幹部会議で議論し全職員へ周知した。 ③ モニタリングの実施及び改善点を幹部会議にて協議し、各会議にて全職員へ周知することで、業務改善に努めた。
オ 安全安心委員会の運営	3種の暴力に対する包括的な対応	① 暴力。虐待等に対する児童への聴き取り（6・10・2月）を実施したことで、問題行動等を未然に防ぐことが出来た。 ② 聴き取り結果等に基づく協議（委員会）（7・11・3月）の実施により、外部委員からのアドバイスを受け対処法等を学び、実践に活かすことが出来ている。 ③ 協議結果に沿った必要な措置を基に処遇に活かしている。（8・12・4月）
カ 施設整備による生活環境の改善	建物の整備	① 施設整備計画に基づいた大規模改築（12月～）については、近隣住民からのクレームにより作業工程が大幅に遅れている。 ② 地域小規模施設（2・3か所目）の開設（9月）により、地域行事等へ積極的に参加することで地域との関係構築が出来た。児童も少人数での生活となったことで、トラブル等の減少、性格も穏やかになってきた。
キ 経営状況の改善・安定化	収入増・支出減の視点に立った経費削減への取り組みと人材の確保	① 人件費、事業費、事務費別業務の見直し（通年）により、職員の経費削減に対しての意識向上へと繋がった。 ② キャリアパス制度の運用（通年）により、職員の評価の実施により、職員の業務に対しての意欲向上へと繋がった。 ③ ハローワーク、人材バンク等への登録（通年）により、人材確保が出来た。 ④ 福祉職養成校などへの訪問活動（適宜訪問）を実施したことで、人材確保へと繋がった。
	民法等の一部を改正する法律の施行への対応	① 安全計画の策定と周知により、危機管理体制の見直しを行った。 ② 業務継続計画を策定することで、職員への周知徹底を図る。
	事務事業の効率化	① 勤怠管理システムの導入を予定

(1) -ア 双葉学園 地域小規模児童養護施設 沓葉

項目	課題	具体的な取り組み
ア 町内との関係（地域性の向上）	積極的な町内会行事への参加	① 毎月1回程度、畑の世話 （4月～6月は苗植えで月2回参加） ② 年間5回（5/14、6/4、7/30、10/1、12/10）、緑光苑町内会3つの公園清掃と植花

		③ 7月23日長尾校区夏祭り ④ 10月1日長尾校区運動会 ⑤ 10月31日秋祭り ⑥ 11月3日緑光苑町内会三世代グラウンドゴルフ大会 ⑦ 1月7日長尾校区どんと焼き
	地域参加の推進 (子どもたちが具体的な家庭モデルを体験する取り組み)	① 挨拶の励行 ② 道路等の清掃
イ 各児童の自立のためのスキル向上と目標	各自の自立に必要なスキルの明確化	(中2) ① 受験生となる自覚を持つ ・毎日、1時間は問題集に取り組む。 ・勉強が必要であることを理解させる。 ・目標を持って課題に取り組む。 ・学習面で分らない時は職員も一緒に考える。 ② 周囲とのコミュニケーションの取り方 自らの気持ちを伝えることが苦手であり、学習が分らなくても「わからない」と言えずにそのままになっていることが多いので、周囲に尋ねて良い事を繰り返し伝え、支援する。 (小6) ① 中学入学後の部活動と学習の両立 疲れて帰園すると学習に取りかかれないことが多いので、中学部活動入部に向けて生活リズムを作り、学習時間を確保する。 ③ 言葉遣いに注意する 乱暴な言葉を使う場面が多く見られるので、継続的な声掛けを行う。 (小6) ① 職員や同居の児童に対しての粗暴性の改善 ・アンガーマネジメントの習得 (職員は感情的にならず冷静に対応をする。) ・事象後は振り返る時間を設ける。 ② 学習習慣の定着 ・毎日、必ず学習の時間を入れる。 ・目標を持って学習に取り組む。 (小2) ① 考えを言葉にする ・本を読む時間を増やし、語彙を増やす。 ・「あれ」「それ」などの指示詞を多用していたので、名詞を用いるように声掛けを行う。 ② カレンダーと時間の概念を覚える

		・日めくりカレンダーと月カレンダーを併用し、今日はどこか認識する。 ・時計を見ながら生活することを意識づけし、職員は長い針や短い針という言葉から「〇〇時」という言葉を用いるように移行する。 ④ 家事に興味を持って自発的に手伝う ・食事作りの際には声掛けをして手伝いを依頼する。 (年長) ① 身辺整理を自ら行う ・職員の支援のもと、整理整頓を身に付ける。 ・自分の洗濯物は自ら干す。 ② 家事に興味を持つ ・調理の音や匂いなど五感で調理を身近に感じ、興味が持てるように調理過程等を見せる。 (年長) ① 発語 苦手とする発音があるため、職員の口元を見せて練習する。																																						
	日課等の決定	【共通】 ・朝の登校用意後、洗濯物を自分で畳む。 【小2】 ・日めくりカレンダーをめくる。 【小6・中2】 ・洗濯は入浴最後の人が洗濯機を回し各自干す。																																						
ウ 施設整備 及び防災	宿直室の設置	現状はパーテーションで区切っている。																																						
	非常口常夜灯の設置	令和5年度3月完了。																																						
	避難訓練等の実施	<table border="1"> <thead> <tr> <th>年月日</th><th>時 間</th><th>内 容</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R5. 4. 29</td><td>17:30</td><td>火災・訓練通報(通報者…佐藤)</td></tr> <tr> <td>R5. 5. 31</td><td>17:30</td><td>地震</td></tr> <tr> <td>R5. 6. 30</td><td>15:30</td><td>大雨・洪水</td></tr> <tr> <td>R5. 7. 31</td><td>14:00</td><td>火災・訓練通報(通報者…鈴木)</td></tr> <tr> <td>R5. 8. 31</td><td>14:00</td><td>不審者対応</td></tr> <tr> <td>R5. 9. 30</td><td>17:00</td><td>火災・訓練通報(通報者…根占)</td></tr> <tr> <td>R5. 10. 31</td><td>17:00</td><td>火災(隣家の火災)</td></tr> <tr> <td>R5. 11. 29</td><td>17:00</td><td>本園と合同(厨房火災)</td></tr> <tr> <td>R5. 12. 22</td><td>17:00</td><td>不審者</td></tr> <tr> <td>R6. 1. 30</td><td>20:00</td><td>夜間火災</td></tr> <tr> <td>R6. 2. 18</td><td>14:00</td><td>火災</td></tr> <tr> <td>R6. 3. 25</td><td>13:50</td><td>大雨・河川氾濫</td></tr> </tbody> </table>	年月日	時 間	内 容	R5. 4. 29	17:30	火災・訓練通報(通報者…佐藤)	R5. 5. 31	17:30	地震	R5. 6. 30	15:30	大雨・洪水	R5. 7. 31	14:00	火災・訓練通報(通報者…鈴木)	R5. 8. 31	14:00	不審者対応	R5. 9. 30	17:00	火災・訓練通報(通報者…根占)	R5. 10. 31	17:00	火災(隣家の火災)	R5. 11. 29	17:00	本園と合同(厨房火災)	R5. 12. 22	17:00	不審者	R6. 1. 30	20:00	夜間火災	R6. 2. 18	14:00	火災	R6. 3. 25	13:50
年月日	時 間	内 容																																						
R5. 4. 29	17:30	火災・訓練通報(通報者…佐藤)																																						
R5. 5. 31	17:30	地震																																						
R5. 6. 30	15:30	大雨・洪水																																						
R5. 7. 31	14:00	火災・訓練通報(通報者…鈴木)																																						
R5. 8. 31	14:00	不審者対応																																						
R5. 9. 30	17:00	火災・訓練通報(通報者…根占)																																						
R5. 10. 31	17:00	火災(隣家の火災)																																						
R5. 11. 29	17:00	本園と合同(厨房火災)																																						
R5. 12. 22	17:00	不審者																																						
R6. 1. 30	20:00	夜間火災																																						
R6. 2. 18	14:00	火災																																						
R6. 3. 25	13:50	大雨・河川氾濫																																						

	施設周辺環境の整備	前面道路の清掃を日常的に行っている。
エ 行事の実施	児童による季節感のある行事の提案と実施	4月 入学・進級祝い会 5月 GW行事（餃子作り・竹の子掘り） 6月 蛍観賞 7月 プール遊び 8月 花火大会、滝遊び 9月 月見 10月 ハロウィン 11月 芸能祭参加 12月 クリスマス会 1月 正月行事（初売り・初詣）、雪だるま作り 2月 ひな祭り（雛人形飾付） 3月 卒園祝い会
	地域の方々との交流行事に積極的に参加する。	ア 参照
オ 職員の職務能力の向上	職員の業務の均一化を図るため、マニュアル化を急ぐ。	各勤務区分別業務内容をまとめた物を作成し、新規採用職員のオリエンテーションに活用。
	研修の受講	資料 - 8 職員研修の実施状況 参照 本園研修委員会が設定した研修会に対象職員が参加し見識を深めた。また職員会議や小規模会議にて伝達研修を実施した。

(1) -イ 双葉学園 地域小規模児童養護施設 式葉

項目	課題	具体的な取り組み
ア 町内との関係（地域性の向上）	積極的な町内会行事への参加	① 11月18日長行校区児童館まつり ② 1月13日長行校区どんと焼き ③ 2月4日長尾校区チャンバラ大会 ④ 2月17日長行校区ウォーキング ⑤ 3月31日うなぎの放流会 〈今後の取り組み〉 令和6年度長行校区・弥生町内会行事の積極的な参加により地域交流と親睦を図る。
	地域参加の推進 （子どもたちが具体的な家庭モデルを体験する取り組み）	① 挨拶の励行 ② 道路等の清掃
イ 各児童の自立のためのスキル向上と目標	各自の自立に必要なスキルの明確化（年齢・月齢に応じたスキル）	① 年下児童へのお世話と思いやり（高2・小6） ② 計画的な段取りと積極的な行動（全児童） ③ 職員の掃除・洗濯のお手伝い（全児童） ④ 居室の整理・整頓（小5・小2） <今後の取組> 各児童の発達に対応した目標を設定する。
	日課等の決定	① 分園式葉（新しい環境）での生活に慣れる

		② 近隣住民への挨拶等の励行 <今後の取組> ① 分園式業で生活する上での約束事の定着 ② 児童自治会の定期的な開催と児童の意見傾聴と生活への反映 ③ トラブル発生時の振り返りの定着
ウ 施設整備 及び防災	非常口常夜灯の設置	開設時に設置が出来ていない。 <今後の取組み> 施設設備改善委員会が主体となり、令和6年度4月より設置に向け調整開始。5月中に設置完了予定。
	火災報知器の設置	同上
	避難訓練等の実施	① 1月21日水害時避難訓練実施 ② 3月10日職員による火災時避難経路確認 <今後の取組> ① 毎月第1土曜日の避難訓練実施 ② 夜間を想定した避難訓練の実施 ③ 地震・風水害・不審者等の避難訓練の実施
	施設周辺環境の整備	9月より悪天候・行事がない限り毎週末、長行さくら公園及びその近辺の道沿いの清掃活動を実施。 <今後の取組> 令和6年度に関しては第1土曜を美化活動日と定めて取り組む
エ 行事の実施	児童による季節感のある行事の提案と実施	児童の自発的な行事の提案には至らず、地域行事に参加させて貰うこととなる。 <今後の取組み> カレンダーを用いて、季節やその時々 of 行事を決定し実施する。決定にあたっては、子ども達と話し合い、児童の提案を傾聴し、実施に向けて協議する。
	地域の方々との交流行事に積極的に参加する。	ア 参照 <今後の取組み> 令和6年度は弥生地区クリーンアップ清掃活動（消毒活動）、盆踊り大会、夜間巡回パトロールに参加予定。
オ 職員の職務能力の向上	職員の業務の均一化を図るため、マニュアル化を急ぐ。	① 児童の日課や職員の業務内容の細やかな部分を見直し、確立。 ② 勤務区分別業務日課『やること』のタイムスケジュールを紙面化して宿直室に掲示。 <今後の取組み> 令和6年度中に改訂中のマニュアルに基づき、新マニュアルを活用しながら業務の均一化を図る。
	研修の受講	資料 - 8 職員研修の実施状況 参照 本園研修委員会が設定した研修会に対象職員

		が参加し見識を深めた。また職員会議や小規模会議にて伝達研修を実施した。 〈今後の取り組み〉 本園と積極的にコミュニケーションをとり、各委員会への参加や活動に取り組む。
--	--	--

(1) -ウ 双葉学園 地域小規模児童養護施設 参葉

項 目		具体的な取り組み結果
ア 町内との関係（地域性の向上）	積極的な町内会行事への参加	① 11月18日長行校区児童館まつり ② 1月13日長行校区どんど焼き ③ 2月4日長尾校区チャンバラ大会 ④ 2月17日長行校区ウォーキング ⑤ 3月31日うなぎの放流会 〈今後の取り組み〉 令和6年度長行校区・弥生町内会行事に積極的に参加し、地域交流と親睦を図る。
	地域参加の促進 （子どもたちが具体的な家庭モデルを体験する取り組み）	① 挨拶の励行 ② 道路等の清掃
イ 各児童の自立のためのスキル向上と目標	各自の自立に必要なスキルの明確化	① 年齢に適した学習指導と見守り・声掛け 【幼児】 ・小学校入学に向け、休日に平仮名・カタカナの書き取りを行う。 ・正しい姿勢や鉛筆の持ち方等を指導。 【小学生】 ・帰園後は直ぐに宿題に取り組む。 ・休日午前の掃除時間終了後から1時間、学習時間を設ける。 【中高校生】 試験日間近に職員が声掛けしているが、自発的に勉強に取り組む姿勢が見られており、学習習慣が身に付いている。 ② 登下校（園）の準備と身支度の見守り声掛け 【小学生】 忘れ物が多く学校より指摘があったこともあり、昨年12月中旬から『帰園後にやること』をリストにして表を居室に掲示。一緒に指差し確認しながら取り組んだ結果、忘れ物が半減した。 【中学生】 中2児童は登校できない日が多々あったが、入院治療と職員の声掛けにより、令和6年1～3月は、3～4回遅刻があったものの学校を休む事がなくなった。 ③ 食事・洗濯・掃除などの手伝い 【幼児】 食事マナーの習慣が身に付いていなかったた

		め、令和6年1月より夕食の時間を早め職員が個別に対応し、正しい姿勢・箸の持ち方（しつけ箸）・左手の位置や意味・三角食を指導した。2月頃より食べこぼしが少なくなり、スムーズに食事が出来るようになった。 【中高生】 洗濯は各自で行うようにしている。開設後より継続的に声掛け等実施した結果、1名を除き自主的に取り組めるようになる。 出来ていない児童に対しては、自立に向けて考え方を改めさせる必要があるため声掛けを継続する。 ④ 居室の整理整頓 各自、毎週土・日曜日の9時から30分間、掃除と整理整頓の時間を設ける。 ⑤ 節電・節水に対する意識付けと声掛け 開設直後は本園での生活感覚が抜けておらず、居室の電気やエアコンをつけたままで登校していることが多かった。その都度声掛け・指導した結果、令和5年12月初旬から職員が声掛けしなくても自ら行うようになった。 〈今後の取り組み〉 各児童の自立に必要なスキルについて、職員間及び児童と話し合いながら目標を定めて取り組む。
	日課等の決定	① 年齢に応じてラミネートカードや分かりやすく紙面化して『見える化』の実施 ② 情報共有ツールを用いて職員間の情報共有を徹底 〈今後の取り組み〉 児童自治会の定期実施を通して、児童の意見を汲み取りつつ、児童が自分らしく生活出来るよう配慮する。
ウ 施設設備及び防災	非常口誘導灯の設置	開設時に設置が出来ていない。 〈今後の取り組み〉 施設設備改善委員会が主体となり、令和6年度4月より設置に向け調整開始。5月中に設置完了予定。
	火災報知器の設置	同上
	避難訓練の実施 (事前に児童に周知して毎月行う。またいろいろな災害を想定して行う)	① 1月21日水害時避難訓練 ② 3月10日職員による火災時避難経路の確認 〈今後の取り組み〉 令和6年度より毎月第1土曜日を避難訓練及び美化活動の日とする。また夜間想定訓練や地震、風水害、不審者等の避難訓練も実施する。
	施設周辺環境の整備	開設時より悪天候・行事等がない限り毎週土・日曜日に長行さくら公園およびその近辺道沿い

		の清掃活動を実施。 〈今後の取り組み〉 令和6年度より第1土曜日を環境美化日と定め今後も毎週土・日曜日の清掃活動を継続する。
エ 行事の実施	児童による季節感のある行事の提案と実施	児童の自発的な行事の提案には至らず、地域行事に参加させて貰うこととなる。 〈今後の取り組み〉 カレンダーを用いて、季節やその時々行事を決定し実施する。 決定にあたっては、子ども達と話し合い、児童の提案を傾聴し、実施に向けて協議する。
	地域の方々との交流行事に積極的に参加	ア 参照 〈今後の取り組み〉 令和6年度は弥生地区クリーンアップ清掃活動（消毒活動）、盆踊り大会、夜間巡回パトロールに参加予定。
オ 職員の職務能力の向上	職員の業務の均一化を図るためマニュアル化を急ぐ。	① 児童の日課や職員の業務内容の細やかな部分を見直し、確立。 ② 勤務区分別業務日課『やること』のタイムスケジュールを紙面化して宿直室に掲示。 〈今後の取り組み〉 令和6年度中に改訂中のマニュアルに基づき、新マニュアルを活用しながら業務の均一化を図る。
	研修の受講	資料 - 8 職員研修の実施状況 参照 本園研修委員会が設定した研修会に対象職員が参加し見識を深めた。また職員会議や小規模会議にて伝達研修を実施した。 〈今後の取り組み〉 本園と積極的にコミュニケーションをとり、各委員会への参加や活動に取り組む。

（2）児童養護施設 双葉学園みのり

項 目		具体的な取り組み結果
ア 小規模かつ地域分散化に向けた計画の策定とユニットの確立及び多機能化・高機能化に向けた支援の	地 域 分 散 化、高機能化・多機能化に向けた基本方針の策定	① 職員の資質・技能の向上 地域小規模開所に向けて、職員研修内容の焦点化と研修報告の充実を図った。研修報告では、個々の学びが職員全体の学びとなった。 ② ユニット単位での調理 月1回のユニット調理を2回に増やし、そのうち1回はユニットごとに決められた予算内で児童と職員の栄養バランスを考えた献立もとにして調理方法、材料、量、種類を調べて調理をし、食事を摂った。また、材料の購入も児童が予算内でできる

質の向上		買い物の経験ができた。 ③ 家庭支援専門相談員を2名に増やし、家族との連携を図りながら、よりよい自立に向けて取り組んだ。 ④ 児童の連続性のある生活を確保し、職員の情報共有・共通認識・共通実践を強化するために、ビジネスチャットツールを活用した。 ⑤ ゴールデンウィークや長期休業日にユニット毎に予算内でめあてを持って、行先や費用、活動内容、移動手段等を職員と児童で話し合い、計画的に社会体験活動を実施した。 児童にとっては意欲的に自分たちで考え、実行し、振り返る活動ができ、達成感を味わうことができた。 ⑥ OJTによる職員の連携向上とスキルアップを図るため業務マニュアルを作成した。 ⑦ 第三者評価を受審し、組織的ボトムアップ体制についてよい評価を得た。
イ 児童への性教育及び人権教育の実施し、自己肯定感を高める教育活動の実施	児童への、性教育及び人権教育の実施	① 児童に対する性教育と人権教育を小学校下学年・小学校上学年・中高生と年齢層に分けて計3回実施した。 ② 児童自治会を毎月1回実施し、児童の要望等を職員会議で報告・審議した。児童の建設的な意見が増えてきた。 ③ 児童意見箱に24件の意見が寄せられ、職員会議で報告・審議した。 その結果、次の3つが採用された。①ナイトシアターの開催 ②学校行事や部活対外試合反省会時の本園門限延長（要相談制度）③エクステ（付け毛）使用許可のルール制定。
	自己肯定感を高める教育活動の実施	① 学習委員会を設置し、学習時間の定着と内容の充実に向けて、次のことに取り組んだ。 ア 学習時間の学習プリントの作成。イ 定期考査に計画と目標を立てて取り組み、結果を集計し、次の目標を立てる。ウ 学期末の成績表を児童とともに振り返り、自己肯定感を味わわせ、次学期の努力目標を話し合う。など ② 児童が自分の好きなことに時間を使い、施設や学校以外の大人や子どもとのコミュニケーション

		ンを通して社会性を養うと共に情緒の安定を目指し、自己の余暇の過ごし方が充実できるよう習い事を実施した。 (ピアノ4名、ウクレレ2名、水泳8名、華道3名、英会話2名) 情緒の安定、自己管理能力の向上が見られた。
	安全・安心委員会を設置し、3種の暴力に対する包括的な対応	① 暴力虐待等で困っている児童をいち早く発見できるように、児童の個別面談や聴取ができる機会を定着させた。聞き取り結果に基づき委員会での協議報告書を作成し、必要な措置を迅速に丁寧に行った。 ② 暴力虐待の相談件数0件。
ウ 職員の処遇スキルと倫理意識の向上	職員の処遇スキルと倫理意識の向上	① 職員全員を対象にコンプライアンス研修を実施した。 ② 人権擁護のためのチェックリストを年2回実施し、その結果を分析して全職員に周知し、傾向と対策を共有した。 ③ ケース会議を19回実施し、処遇困難児童について処遇向上を図ることができ、全職員の共通理解も出来た。 ④ 毎月行われるユニット会議等を通して、児童の処遇改善を検討したり、業務の効率化を考えたりすることで、充実したユニット内でのOJTができた。また、ユニットリーダーの職場における視野が広がり若手職員の育成に成果があった。 ④ 年度初め(5月初旬)に本年度の自己申告書を作成させ、その自己申告書を基に係長・課長・園長と面談を行い、本年度の目標を共有した。 また、年度末(12月)には目標に照らし合わせて自己評価をさせ、係長・課長・園長と面談し、本年度の成果と課題を共有し、来年度の目標の方向性を話し合った。 年に少なくとも2回ずつ係長・課長・園長の個別の面談を実施することにより、業務への意欲を高めた。 ⑥ 職員の経験を反映させた「新規採用者のための手引き」が完成し、それを基に実習生や新規採用研修や指導も行うように計画した。 その結果、新規採用者はもちろん、作成者や研修

		担当者である中堅・ベテラン職員も処遇スキルと倫理意識の向上が図られた。
エー① 施設整備による生活環境の改善	建物の現状調査を行い、整備計画の策定	① 地域小規模の開所に向けて、Wifi 環境の調査をした。結果、児童のリモート学習ができるか、また、職員の日報記録などパソコン業務ができるかの懸念もあるため環境整備の必要性を確認した。
エー② 業務改善の取組	情報の整理を行い、共有しやすいシステムの構築	① 情報を共有するために前述のビジネスチャットツールを活用した。ペーパーレスを推進するために行事計画書や委員会の提案文書等を共有フォルダーで集約し、いつでもだれでも閲覧や使用ができるようになった。 ② 給与システム等は、費用対効果を考えると、費用が大きく見送りとなった。
オ 児童安全計画及び事業継続計画の実施	計画の周知と実施	① 年度当初（4月）の職員会で、BCP 及び安全計画の作成の目的と、作成にあたり配慮した点を作成委員長から職員に説明した研修を実施した。 質疑応答を経て、全職員の共通理解を図った。年度末には、その他委員会も含め、今年度の反省と次年度の構想について発表した。 ② 小学生児童が安全に登下校できるように毎日必ず職員が付き添った。職員は、特に新一年生の引率に留意し、交通事故防止に努めた。同時に職員による通学路の安全点検、危険場所の把握を計画的に行い、点検結果等を全職員に周知した。また、自転車を利用する児童は必ずヘルメットを着用させ、交通事故防止に努めた。

（3）双葉学園 児童家庭支援センター

項 目	具体的取り組み結果
ア センターの周知と相談件数の確保	① Facebook・Instagramを更新（4、6、7、8、9、11、12、1、2、3月） ② 校区の小中学校、市民センター、保育所、区役所保健師へパンフレットを配布した。 ③ 地域の子育て行事へ参加した（おさゆき広場、児童館祭り、市民センターこども祭り） ④ わいわい子育て相談へ参加した（毎月）
イ 職員の資質向上のための取組み	年2回以上の外部研修への参加 ① 各職員3回以上外部研修に参加した

(4) 保育所 双葉保育園

項 目		具体的な取り組み結果
ア 定員の確保	定員(90名)の確保	① 69名でスタートし、途中で職員が採用できたので、16名入園したが、引っ越し等で退園児もいたため6年3月は73名だった。
	ホームページ作成	② ホームページは完成した。 保護者から反応があったので、今後は、育児の様子がよりわかるようにプライバシーに配慮しながら園児の写真もアップする。
	習い事保護者アンケート	③ 保育士不足もあり、計画そのものの作成が出来ず、結果的にアンケートは実施出来なかった。
イ 10の姿の実践	情緒の安定を図る	① 健康な心と体作りを目指し ・情緒の安定が図れるようにスキンシップを生活や遊びの中に取り入れた。 ・自分のやりたいことができるように援助した。
ウ 行事の実施	日本伝統行事に触れる等各種行事の実施	① 運動会・生活発表会の実施 ② 園外保育の実施(年長組) ③ 日本の伝統行事(節分、ひな祭り等)を各クラスで工夫して実施した。
エ 保育士の確保	ハローワーク等で募集養成学校や実習生への働きかけ	① 職員からの紹介 2名 ② 人材紹介会社からの紹介 4名 ③ ホームページを見ての応募 1名 ④ 実習生からの就職 1名 ⑤ ハローワーク 0名
オ 保育士の資質の向上	各種研修の受講	① 園外及び園内の研修を受講した。
カ 業務のICT化	ICT化	① 指導計画、クラスだよりを、パソコンか手書きの2種類の選択にした。 ② 6年4月からはパソコンで作成する。 ③ 今後、日誌のICT化を検討する。
キ 施設整備	各種整備	① エアコン(給食室) ② 靴箱側の電気を設置
	防犯カメラ設置	③ 設置出来なかった。 6年度設置で、業者選定中である。

(5) 介護老人福祉施設 双葉苑

項 目	具体的な取り組み結果
①利用者数の獲得、確保	待機者 4～5 人ショートにて確保 ①ショート（短期入所）の管理者の協力もあり、ショートから特養へ 7 名の御利用者様が入所された結果、空床を埋めることが出来た。今後も引き続きショートから入所へスムーズに移行できるように努める。 ②ショート利用契約時に 9 名特養待機申し込みを行って頂いて、入所者の急な入院退所時に即入所へ繋げることができた。今後も引き続き継続する。
病院・施設に営業活動	①電話や訪問など年間 25 件月ベースで 2 件営業活動を行った。 ②コロナ禍であって入居に至るまでの時間が掛かってしまったが、入所待機者が途切れることはなかった。今後も待機者を獲得する為、情報発信の強化を行い、引き続き継続する。
⑤ 職員数の確保	処遇改善加算Ⅰを取得する ① 令和 5 年度から実施し、現在も継続している。今後は介護度の定期的な見直し、加算取得を行う。 ② ハローワーク等を利用し 1 名職員を確保できた。今後は業務内容に応じた募集も視野に入れ、引き続き募集を行う。 ③ 慶成高等学校介護福祉科の 4 名の実習生の受け入れを行った。今後も実習受け入れを積極的に行い介護福祉士の獲得に繋げる。
③コロナ対策を行い、入所者、職員の感染予防に努める。	施設内で情報の共有と実践を行う。 ①週に 1 回の往診時又は感染流行時に密に看護師が主体となり感染防止の取り組みを行ったがクラスターが 2 件発生してしまった。今後も引き続き感染対策を行っていく。

(6) 双葉苑 短期入所生活介護事業所

項 目	具体的な取り組み結果
①年間利用率 60%を確保する。	コロナ対策を継続しながら利用率を維持する。 ①サービスの質の向上に力を入れることで、コンスタントにケアマネージャーより紹介を頂き、営業を最小限に抑えることができた。 ②中長期の御利用者の定期受診の付き添いと、利用中の傷病に対しての受診支援を行うこと

		で、継続的な利用に結びつけることができた。 ②日課（脳トレ）とレクリエーションを継続することで、御利用者の健康維持に効果がみられると共に、御利用者だけでなく御家族やケアマネージャーからも好評を頂いている。 ③ケアマネージャーへの連絡や面会時また月末報告書を通して、御利用者の状態や活動内容について詳細に報告を行い、新規御利用者の獲得に繋がっている。 ④ 短期で御利用頂いていた御利用者の御家族から、体調不良や入院、レスパイトを理由に緊急ショートの依頼が入ることが多くなった。
--	--	---

（７）双葉苑 居宅介護支援事業所

項 目		具体的な取り組み結果
①介護サービスが必要な方の開拓	病院・施設・かかりつけ医との連携強化	①入院時や退院時に訪問し、電話での連携は出来たと思う。 ②施設との連携はあまり出来なかった。 ③受診時同行し、主治医との連携を出来るだけはかり、新規を3、4例紹介頂いた。
②積極的な研修・会議への参加	スキルアップ	①ケア会議の参加は年1回参加 ②包括との連携は紹介も困難事例も緊急も断らなかったもので5年度は6、7例の紹介を受けた。 ③研修参加はあまり出来ていない。 ④積極的に行えた。

（８）双葉苑ディサービスセンター

項 目		具体的な取り組み結果
ア 売上増加	① 営業目標を設定する ② 買物レクなどの充実 ③ HP・インスタ更新	① 月訪問営業40件以上に対し、10件と目標達成出来てなかった。今後は営業リスト及び営業日をしっかり決めて行う。 ②買物レクなどは毎月新しい場所を1ヶ所以上計画に取り入れており、お客様も喜ばれた。 ③ドライブや買物の写真をHPなどにアップ出来ておりますのでこれからも継続して行う。
イ 離職者0%	① 健康上・家庭的な事情	① 退職者男性1名。家庭的な事業で収入を増やさないといけないとの事で他業種に転職し

	以外の退職者を出さない ② 介護職員の収入アップ	た。この情報は事前に他職員より話があり、職員間でのトラブル等での退職ではない。 ② 処遇改善加算Ⅰを取得し介護職員の収入はアップしている。
ウ 書類管理	① 遅延のない書類作成 ② 介護職員の採用	① 介護職員必要書類は遅延なく作成出来ており、介護保険課の運営指導も指摘はなかった。 ② ハローワークなどに求人を申し出ましたが応募者0名である。継続して行う。

(9) 地域密着型介護老人福祉施設 第二双葉苑

項 目	具体的取り組み結果
ア 空所時、円滑に入所が出来るよう入所待機者を増やす。利用平均90%以上にする。	① 今年度、同一法人内の紹介入所者者6名あり、第二双葉苑にても、他事業所に1名紹介している。 ② 入所待機者2名は法人内他事業所からの紹介 ③ fax営業後に、fax先のケアマネからの紹介等で見学依頼3件あった。 ④ 利用率90%は達成出来た。
イ 介護職の確保	①フルパート募集のみに拘らず、夜勤専従者の募集を行い1名の介護職雇用を行うことが出来た。
ウ コロナ感染を拡大させない。	① 嘱託医師と連携を継続して、感染対応行っており令和5年度はコロナ感染が6月（利用者7人職員3名の計10人 感染は1ユニットのみ）・2月（職員1名感染、その後の利用者感染は無し）の2回あっているが、第二双葉苑全体としての拡大感染にはなっていない。 ② コロナ感染が原因の入院等は発生していない。

(10) グループホーム 双葉荘

項 目	具体的取り組み結果
ア 利用者様の獲得ができていない	①FAXを100件定期的に送信したが、直接的な問い合わせはなかった ②空床がある為、訪問し営業活動を行なった一時期、空床が5床となったが3床に盛り返してきている状態にある

		② 営業方法を見直し、相手に紹介したい施設の一つとして候補に加えて頂く事が出来ているようで訪問回数や件数に比例しレスポンスが増えてきた。
イ 求人募集と職員の定着	求人募集を行い、反応の確認をする。	① 求人媒体を増やし求人募集を行なったハローワーク以外にワークプラザ、インディード等の無料求人サイトに掲載しているが退職も相次ぎ人員不足は深刻な状態が続いている。 ② 求人掲載を行ない、対応した件数を確認したが問い合わせがなかった。閲覧回数をチェックしながら掲載内容の訂正を繰り返し、閲覧数を増やすことは出来たものの問い合わせまでは発展しなかった

(11) 地域密着型介護老人福祉施設 ふたばのその

項 目	具体的取り組み結果
ア 利用者様のニーズ把握とケア	① ニーズの変化を確認できた。 ② ニーズの共有ができた。 ③ ケアを実施し、改善に取り組んだ。
イ 求人募集と職員の定着	① ハローワークでの求人募集を行った。 ② 入職者1名。離職者3名だった。 ① 現職の職員との面談を行った。 現状のユニットの状況等の確認をおこない継続して募集を行うことが必要である。 ② 定着を目指すために今後も継続して行う必要があることを確認する。
ウ キャリアパス制度の導入	① キャリアパス制度を導入した。

(12) グループホーム ふたばのその

項 目	具体的取り組み結果
ア リーダーを中心とした会議を行う	① 前年度の総括を行った。 ② 業務改善策の会議を行い共有した。 ② 改善策の取り組みを行い改善した。

イ 求人募集と職員の定着	求人募集を行い、反応の確認をする。	①ハローワークに求人掲載をした。 ②求人掲載をした結果3名採用した。 ③反応の確認を行った。 ④反応の確認を行った結果、求人内容の見直しを行い再度掲載を継続した。
--------------	-------------------	--

(13) 小規模多機能居宅介護 ふたばのその

項 目	具体的な取り組み結果	
ア 職員スキルアップ	安全・安心な支援が行えるよう、職員への研修システムの構築	① 実務者研修、介護福祉士取得に向けての環境整、等を行い、1名資格取得ができた。 ② 内部研修を行い、研修システムの構築に努めることができた。
イ 利用者登録29名を目指す。	営業計画の立案	① 居宅や病院SWに営業を行うことで29名集客できた。
ウ 人員確保	求人掲載	① パコラ等の求人掲載を行ったが集まらず、異動や職員の紹介にて職員を3名採用することができた。

(14) 小規模多機能居宅介護 ふたばのみのり

項 目	具体的な取り組み結果	
ア 職員スキルアップ	安全・安心な支援が行えるよう、職員への研修システムの構築	① 毎月のミーティング時、事業所内での研修を行う 【効果・結果】毎月のミーティング及び事業所内で研修を実施し、利用者の情報共有ができ統一した介助ができた。今後も継続していく。 ② 対象者を基に事例検討会を行う。 【効果・結果】適宜、利用者の基に事例検討会を行うことができた。今後も継続していく。 ③ 環境整備 【効果・結果】利用者が安心安全に過ごす事ができる様、環境作りを行うことができた ④ 昨年度の振り返りを行う 【効果・結果】職員と一緒に振り返りを行い、改善点等を検討できた。

イ 利用者登録18名を目指す。	営業計画の立案	① 新規営業先の開拓。 【効果・結果】病院営業を主に行ったことで、今まで関わりが薄かった病院からの問い合わせが増加した。 ② 既存の営業先へアプローチする。 【効果・結果】地域包括からの問い合わせが増加した。 ③ 年度を振り返り、営業ツールの見直し。 【効果・結果】リハビリテーションを実施できる事業所であることを強みに営業を行ったことで、問い合わせの増加に繋がった。 ④ 家族のニーズであるリハビリテーションができる環境作り及び実施。 【効果・結果】リハビリテーションが実施できる環境作りできた。徐々に専門職によるリハビリテーションが実施できることが浸透し、問い合わせの増加に繋がった。 ⑤ 他事業所からのショートステイの相談、要望に対応できるよう、事業内容を変更する。 【効果・内容】検討中であり、現時点ではショートステイの受け入れは不可である。今後とも検討する。
ウ 人員確保	求人広告掲載	① 求人広告掲載依頼をかける ② 求人掲載の更新を行う。 【効果・内容】適宜、求人広告の掲載依頼や更新を行う。常勤換算上、必要な人員配置は確保できている。

4 理事会・評議員会の開催状況

必要に応じ理事会、評議員会を開催し、理事会主導による堅実な経営を行いました。

理事会開催概要

回数	開催月日	議 案	出決状況
322	R5. 04. 25	①公益財団法人 J K A 補助事業 補助金交付決定にかかる受諾について ②双葉保育園「食器洗浄機」リース契約の締結について ※すべて原案通り可決	決議の省略手続き
323	R5. 06. 07	①令和4年度事業報告及び決算について ②社会福祉充実残額について ③理事及び監事候補者の推薦について ④評議員候補者の推薦について ⑤評議員選任・解任委員会の招集について ⑥評議員会の招集について ⑦苦情解決第三者委員の選任について ⑧令和5年度第1次補正予算について ⑨双葉学園改築に伴う設計監理業務委託契約の締結について ⑩児童養護施設就業規則等の改正について ⑪高齢者関係施設正規職員給与規程等の改正について ⑫職員提案規程の制定について ※すべて原案通り可決 報告事項 1 裁判の状況について（不当利得返還請求事件〈電話利用料等の返還〉）	理事 6/6名 監事 2/2名
324	R5. 06. 23	①理事長の選定について ②業務執行理事の選定について ※柏木修氏を理事長に選定、高田照男氏を業務執行理事に選定。	理事 6/6名 監事 2/2名
325	R5. 08. 21	①双葉学園地域小規模児童養護施設の開設について ②双葉学園地域小規模児童養護施設賃貸契約の締結について ③双葉苑特殊浴槽購入契約の締結について ④令和5年度第2次補正予算について ⑤双葉学園措置児童の無断外泊について ※すべて原案通り可決	理事 6/6名 監事 2/2名

		報告事項 1 裁判の状況について（不当利得返還請求事件（電話利用料等の返還）） 2 ウィキペディア（フリーの百科事典）の記事の編集について 3 北州市児童養護施設協議会の「NPO法人」化について	
326	R5. 10. 02	①双葉学園改築に伴う基本設計について ②児童養護施設就業規則の改正について ③児童養護施設管理規程の改正について ※すべて原案通り可決 報告事項 1 裁判の状況について（不当利得返還請求事件（電話利用料等の返還）） 2 児童の無断外泊について 3 職員提案の審査結果について	理事 6／6名 監事 2／2名
327	R5. 11. 06	①双葉学園改築に係る実施設計の承認について ②双葉学園改築工事に係る契約締結方式、予定価格及び入札等について ③令和5年度第3次補正予算について ※すべて原案通り可決 報告事項 1 理事長及び業務執行理事の職務執行状況報告 2 裁判の状況について（不当利得返還請求事件（電話利用料等の返還））	理事 6／6名 監事 2／2名
328	R5. 12. 14	①双葉学園改築工事契約の締結について ②双葉学園みのりの整備計画について ③双葉保育園給与規則の改正について ④令和5年度第4次補正予算について ※すべて原案通り可決 報告事項 1 福祉医療機構資金借入申込に係る法人理事の「借地に係る施設建築及び抵当権設定に係る確認書」の提出について 2 裁判の状況について（不当利得返還請求事件（電話利用料等の返還））	理事 6／6名 監事 2／2名
329	R6. 03. 29	①令和5年度第5次補正予算（案）について ②令和6年度事業計画及び資金収支予算（案）について ③児童養護施設給与規程の改正について	理事 5／6名 監事

	④児童養護施設就業規則の改正について ⑤児童養護施設等有期契約職員等就業規則の改正について ⑥双葉学園児童家庭支援センター就業規則の改正について ⑦双葉学園借地等の福祉医療機構による抵当権設定について ⑧双葉学園みのり職員による不祥事について ⑨複合機（コピー、プリント機）のリース契約の締結について ⑩北九州市児童養護施設協議会の一般社団法人化に伴う児童養護施設施設長の社員としての入社等について ※すべて原案通り可決 報告事項 1 理事長及び業務執行理事の職務執行状況報告 2 予備費の使用について	2/2名
--	--	------

評議員会開催概要

回数	開催月日	議 案	出決状況
定時	R5.06.22	①令和4年度事業報告及び決算について ②理事及び監事の選任について ※すべて原案通り可決 報告事項 1 令和4年度北九州市による一般指導監査の結果について 2 裁判の状況について 3 児童養護施設「双葉学園」の改築について	評議員 6/7名

5 行事等の実施状況

行事について、児童は、興味や趣味に合わせて主体的に余暇を過ごすことができるよう、園児は、四季を通じての知性、感性、体力の基礎等を作る。また、高齢者施設の利用者に対して、余暇を満喫してお過ごしいただくために、季節に合わせて多彩な行事を開催する。ことを計画しました。

(1) 童養護施設 双葉学園

ア 施設（事業所）行事实施状況

実施月	行事名	実施内容・参加者等	実施場所
4	花見	桜を見ながら紫川に沿って散策 全児童	紫川河畔公園
	野球交流会	小倉中央ロータリークラブとの交流会 男子児童 20 名	合馬竹林公園
	あゆの放流	地域行事「アユの放流」に参加、 小学生 15 名	紫川亀年橋
	こいのぼりまつり	校区行事「こいのぼりまつり」に参加、 小学生 15 名	紫川桜橋周辺
5	コンサート招待	音楽劇鑑賞 全児童	ウェルとばた
	食事会	焼肉龍園招待 全児童	焼肉龍園
	ホタル観賞	ホタルの観賞 全児童	合馬周辺
	バレー大会	北養協主催バレー対抗試合 女子児童 8 名	門司体育館
6	野球大会	北養協主催の野球対抗試合 男子児童 21 名	門司球場
	グランドゴルフ大会	地域交流を目的とした大会 児童 29 名	徳吉中央公園
7	プロ野球観戦	プロ野球観戦招待	Paypay ドーム
	校区川まつり	紫川の清掃、地域交流 小学生 16 名	紫川亀年橋
8	季節行事	花火 全児童	本園
	季節行事	川遊び 全児童	春日
	訪問コンサート	演奏家が来園してのコンサート 全児童	本園
	校区夏まつり	校区行事、地域との交流 小学生 5 名	徳吉中央公園
9	食事招待	食事会招待（博多食文化の会） 全児童	グローバルアリーナ
	野球大会	県養協野球大会 児童 20 名	新門司海浜公園グランド
10	バレー大会	県養協加盟施設の児童によるバレー大会 児童 8 名	浅生アリーナ
11	北養協芸能まつり	式典、e スポーツ大会、川柳コンクール等 全児童	若松市民会館
	菅生児童館まつり	地域行事への参加 小学生 15 名	菅生児童館
12	ドッジボール大会	北養協主催ドッジボール対抗試合 小学生 15 名	若松体育館
	クリスマス会	クリスマス会 全児童	本園
	餅つき	卒園生、在園生等で餅つきを行う 全児童	本園
1	新年行事	書初め・初売り・初詣 児童 20 名	本園
	どんと焼き（校区）	地域行事への参加 小学生 15 名	徳吉中央公園
2	旅立ちを祝う会	一日里親の会主催 高校3年生 1 名	クラウン

			パレス小倉
3	卒園祝い会	卒園、卒業生を祝う会 全児童	本園
	うなぎの放流	地域行事うなぎの放流に参加 小学生 15 名	紫川上流

イ その他毎月定例の行事実施状況

行事名	実施内容・参加者等
誕生日会（隔月実施）	誕生日該当児童 新型コロナウイルスにより上・下半期で3回実施
災害時、火災避難訓練（毎月）	消防避難訓練時の児童の避難経路確認 及び消火・救急処置等体験

（2） 児童養護施設 双葉学園みのり

ア 施設（事業所）行事実施状況

実施月	行事名	実施内容・参加者等	実施場所
4	お花見	各ユニットで公園等散策。 児童：全児童 職員：全職員	徒歩圏内公園等
	美化パトロール	地域の方と地域の清掃活動。 児童：7名 職員：1名	陣山市民センター
	工作ボランティア	ひな祭りの工作。 児童：5名 職員：1名	双葉学園みのり
5	GW レクリエーション	各ユニット、予算内で目的地を決め、外出の計画を立て外出。 男女6ユニット・職員2名ずつ	やすこうち農園 福田ファーム 脇田海釣り桟橋 サニーサイドモール 白糸の滝 長井浜マテほり場
	子ども菜園作り	地域の方と野菜を育てる。 児童：16名 職員：3名	陣山市民センター
	美化パトロール	地域の方と地域の清掃活動。 児童7名 職員：1名	陣山市民センター
	北九州こどもの日コンサート招待	招待行事に参加。 主催：（株）ナカノテツ 児童：17名 職員：7名	戸畑市民会館 大ホール
	龍園招待	焼肉の龍園での食事招待に参加。 児童：全児童 職員：12名	焼肉の龍園
6	北養協野球交流大会	北九州の児童養護施設で野球交流試合。 児童：16名 職員：4名	門司球場
	美化パトロール	地域の方と地域の清掃活動。 児童：8名 職員2名	陣山市民センター
	キックボクシング観	卒園生のキックボクシングの試	Bitts HALL

	戦	合観戦。 児童：4名 職員：1名	
7	プロ野球招待	ソフトバンクホークス VS オリックスの試合観戦の招待に参加。 寄贈：福岡県市町村振興協会 児童：3名 職員：2名	PayPay ドーム
	プロ野球招待	ソフトバンクホークス VS オリックスの試合観戦の招待に参加。 寄贈：福岡県市町村振興協会 児童：5名 職員：2名	PayPay ドーム
	プロ野球招待	ソフトバンクホークス VS ロッテの試合観戦の招待に参加。 寄贈：北九州市社会福祉協議会 児童：6名 職員：2名	PayPay ドーム
	プロ野球招待 (スーパーボックス)	ソフトバンクホークス VS ロッテの試合観戦の招待に参加。 寄贈：UBS 証券株式会社様 児童：4名 職員：2名	PayPay ドーム
	子ども菜園作り	地域の方と野菜を育てる。 児童：16名 職員2名	陣山市民センター
	県養協野球大会	児童養護施設対抗で、野球の試合。 児童：16名 職員1名	門司球場
8	SBI イングリッシュキャンプ	全国の施設の代表が集まり、英語でアクティビティ。 児童：4名 職員：1名	飯田橋 レインボービル
	お盆 映画鑑賞	各ユニットで買い物・映画鑑賞・外食を兼ねて外出。 児童：34名・職員：5名	直方イオン
	盆供養	みのり全体で盆供養を実施するもの。 児童：35名 職員：17名	双葉学園みのり 食堂
	音楽劇「みらいちゃんと3人の愉快なお友達」招待	みのり全体で音楽劇鑑賞。 寄贈：北九州中小企業経営会協会 (株) アンサー倶楽部 児童：41名 職員：7名	黒崎ひびしん ホール
	花火レレション	児童からの要望で手盛り花火を実施。	双葉学園みのり 駐車場

		児童：44名 職員：10名	
	プロ野球招待	ソフトバンクホークス VS 西武 の試合観戦の招待に参加 寄贈：福岡県遊技業協同組合 児童：8名 職員：2名	PayPay ドーム
	おかえりんご	卒園生と在園性の交流。 児童：44名 卒園児：5名 職員：9名	双葉学園みのり 食堂
9	リーダーキッズ	リーダーキッズ研修 チームで力を合わせゲームを実施し、「できる」という喜びを体験。 主催：(株) ライフクリエイト 児童：8名 職員：2名	北九州市立男女共同参画センタームーブ
	博多食文化招待	ウクライナ支援の一環として、ウクライナの子供たちと美味しいものを食べる。 主催：博多食文化の会 児童：21名 職員：4名	グローバルアリーナ
	ボルクバレット北九州ホームゲーム	参加希望者でフットサルの試合を観戦 主催：ボルクバレット北九州 児童：3名 職員：1名	メディアドーム
	美化パトロール	地域の方と地域の清掃活動。 女子児童：9名 職員：1名	陣山市民センター
	西鉄バス招待	西鉄バスで水族館に行き、水族館見学。 女子児童：5名 職員：2名	マリンワールド海の中道
	秋季野球大会	児童養護施設対抗で、野球の試合。 児童：16名 職員：4名	新門司海浜公園
	こども菜園作り	地域の方と野菜を育てる。 小学生：全員 職員：3名	陣山市民センター
10	秋季バレー大会	児童養護施設対抗で、バレーの試合。 児童：9名 職員：4名	麻生アリーナ
	保育士・漫画体験プログラム	夢プロジェクトの保育士・漫画家体験に参加。 主催：NPO 法人北九州国際自然大	双葉学園みのり

		学校 児童：5名 職員：4名	
	北養協ちびっこレクレーショ	各施設でダンスの発表。 動物見学。 児童：7名 職員：4名	到津の森公園
	ハロウィンイベント	仮装やフェイスイベントなど普段体験できない文化に触れる。 主催：aiplannet 児童：44名 職員：9名	双葉学園みのり
	パティシエ体験プログラム	夢プロジェクトのパティシエ体験に参加。 主催：NPO 法人北九州国際大自然大学校 児童2名・職員1名	パティスリーマホラ
	子ども菜園作り	地域の方と野菜を育てる。 小学生全員・職員3名	陣山市民センター
	海上保安庁巡視船一般公開の招待	海上保安庁巡視船の一般公開の招待に参加。 児童7名・職員2名	久岐の浜広場 南海岸
11	和食体験プログラム	夢プロジェクトの和食体験プログラムに参加。 主催：NPO 法人北九州国際自然大学校 児童：3名 職員：1名	門司ヶ関学園
	北養協 e スポーツ大会	北九州の児童養護施設対抗でeスポーツの試合。 主催：北養協 児童5名・職員1名	若松市民会館
	第71回芸能祭	北九州の児童養護施設が集まり川柳コンテストやスピーチコンテストの実施。 主催：北養協 児童30名 職員12名	若松市民会館
	釣り招待	船で角島沖まで行き、船釣り。 主催：SIMANO 児童2名 職員1名	角島沖
	ポップサーカス招待	ポップサーカス来た北九州公演の招待に参加。 主催：ポップサーカス北九州公演	ジアウトレット北九州

		事務局 児童12名・職員3名	
	子ども菜園作り	地域の方と野菜を育てる。 児童：16名 職員：3名	陣山市民センター
12	美化パトロール	地域の方と地域の清掃活動。 児童：7名 職員：1名	陣山市民センター
	クリスマスディナー招待	ライオンズクラブからのクリスマスディナーの招待に参加。 児童：9名 職員：2名	ステーションホテル小倉
	北養協ドッジボール大会	北九州の児童養護施設対抗のドッジボール大会。 児童：16名 職員：9名	若松体育館
	ふれあい餅つき大会	地域の餅つき大会に参加。 児童：3名 職員：1名	陣山市民センター
	クリスマス会	出し物（ピアノ演奏や各ユニットの出し物）を披露する。 全児童 職員：28名	双葉学園みのり
	餅つき	一日里親さん・卒園児を招待し、ユニット毎に餅つき体験 全児童 全職員 卒園児：5名 一日里親：4名	双葉学園みのり
1	初詣	外泊に行っていない児童で初詣 児童：24名 職員：9名	岡田神社
	正月買い物	正月の買いもの 児童：24名 職員：10名	小倉市街
	小倉城おしるこ招待	小倉城で行われた鏡開きで使用したお餅のお汁粉を試食 主催：小倉城大鏡餅実行委員会 児童：29名 職員：5名	小倉城
	ビンゴ大会	寄付でいただいた品物でビンゴ大会 児童：33名 職員：6名	双葉学園みのり
	夕食外食	正月の外食 児童：36名 職員：6名	すたみな太郎
	子ども菜園作り	地域の方と野菜を育てる 児童：11名 職員：3名	陣山市民センター
	MISIA ライブ招待	希望参加者でMISIAのライブ鑑賞 主催：一般財団法人 mudef 児童：6名 職員：4名	マリンメッセ福岡

2	パイプオルガンコンサート招待	希望参加者でパイプオルガンコンサートの鑑賞 主催：北九州ライオンズクラブ 児童：3名 職員：1名	北九州ソレイユホール
	旅立ちを祝う会	各施設の卒園児童が祝われる会 主催：1日里親の会 児童：2名 職員：4名	ホテルクラウンパレス
	子ども菜園作り	地域の方と野菜を育てる 児童：16名 職員：3名	陣山市民センター
	フライングディスク記録会	希望参加者でフライングディスク記録会に参加 主催： ・北九州市 ・（公財）北九州市身体障害者福祉協会 ・（社福）北九州市社会福祉協議会 ・（社福）北九州市手をつなぐ育成会 ・北九州市障害者スポーツ協会 児童：5名 職員：1名	北九州市立小倉北体育館
3	美化パトロール	地域の方と地域の清掃活動 児童：7名 職員1名	陣山市民センター
	卒園祝い会	学校関係者、地域の方、一日里親を招いて卒園生・進級学園の児童を祝う会。 児童：27名 職員：10名 学校関係者：3名 地域：5名 一日里親：不参加	双葉学園みのり
	富永裕輔 ライブ	富永裕輔さんに来ていただきライブ鑑賞 児童：39名 職員：10名	双葉学園みのり
	児童・職員お別れ会	卒園児童・退職される職員とのお別れの会。 児童：44名 職員：27名	双葉学園みのり

イ その他毎月定例の行事実施状況

行事名	実施内容・参加者等
誕生日会	ケーキとプレゼントでお祝い・その月の誕生児童
避難訓練	毎月1回
児童自治会	毎月1回

(3) 児童家庭支援センター

実施月	行事名	実施内容・参加者等	実施場所
4	おさゆき広場	子育て相談 親子2組(4名)	長行市民センター
5	おさゆき広場	子育て相談 親子2組(4名)	長行市民センター
	わいわい子育て相談	発達相談 親子2組(4名)	生涯学習センター
6	おさゆき広場	子育て相談 親子3組(7名)	長行市民センター
	わいわい子育て	発達相談 親子2組(4名)	生涯学習センター
7	おさゆき広場	子育て相談 親子3組(6名)	長行市民センター
	わいわい子育て相談	発達相談 親子2組(4名)	生涯学習センター
8	おさゆき広場	子育て相談 親子8組(17名)	長行市民センター
	わいわい子育て相談	発達相談 親子2組(4名)	生涯学習センター
9	おさゆき広場	子育て相談 親子5組(11名)	長行市民センター
	わいわい子育て相談	発達相談 親子1組(2名)	生涯学習センター
10	おさゆき広場	子育て相談 親子3組(7名)	長行市民センター
	わいわい子育て相談	発達相談 親子1組(2名)	生涯学習センター
11	おさゆき広場	子育て相談 親子3組(7名)	長行市民センター
	わいわい子育て相談	発達相談 親子2組(4名)	生涯学習センター
12	おさゆき広場	子育て相談 親子5組(11名)	長行市民センター
	わいわい子育て相談	発達相談 親子2組(4名)	生涯学習センター
1	おさゆき広場	子育て相談 親子9組(19名)	長行市民センター
	わいわい子育て相談	発達相談 親子2組(4名)	生涯学習センター
2	おさゆき広場	子育て相談 親子8組(17名)	長行市民センター
	わいわい子育て相談	発達相談 親子2組(4名)	生涯学習センター
3	おさゆき広場	子育て相談 親子8組(18名)	長行市民センター
	わいわい子育て相談	発達相談 親子2組(4名)	生涯学習センター

(4) 保育所 双葉保育園

ア 施設(事業所)行事実施状況

実施月	行事名	実施内容・参加者等	実施場所
4	入園式・進級式	新入園児6名・在園児51名と職員	各クラス
5	児童健康診断	全園児、クラスごとに実施	遊戯室・各クラス
6	歯科検診	さくら組・ゆり組	遊戯室
7	買い物ごっこ	えんにち祭、クラスごとに実施	遊戯室
9	運動会	以上児・未満児入れ替え制(保護者参加)	長行小体育館
10	児童健康診断	全園児、クラスごとに実施	遊戯室・各クラス
	いもほり	さくら組、さつまいも掘り	田中農園

	日帰り遠足	さくら組、お泊り保育を変更	もりのいえ
11	七五三神社参拝	さくら組参拝	八旗八幡神社
	生活発表会	全園児（保護者参加） ビデオ・写真撮影	遊戯室
12	クリスマス会	全園児、クラスごとに実施	各クラス
1	そつえん写真撮影	さくら組写真撮影	遊戯室
2	節分	全園児、クラスごとに実施	各クラス
	長行小との交流	さくら組	長行小学校
3	社会見学	さくら組	いのちのたび博物館
	ひなまつり	全園児、クラスごとに実施	各クラス
	さよならの会	お別れ会・各クラスが順番で遊戯室の さくら組の所へ行く	遊戯室
	卒園式	17名卒園、卒園児と保護者のみ	遊戯室
	修了式	写真撮影、クラスごとに実施	遊戯室

イ その他毎月定例の行事実施状況

行事名	実施内容・参加者等
誕生会 （毎月一回、誕生児のみ）	・その月の誕生日の園児を皆でお祝いする。 誕生カードや冠のプレゼント。
避難訓練（毎月一回、以上児）	・園内や近隣からの火災、地震や台風時の避難訓練。 ・消火器の使い方の訓練。

（５）介護老人福祉施設 双葉苑

ア 施設（事業所）行事実施状況

実施月	行事名	実施内容・参加者等	実施場所
4	花見	山の塔から桜の花を見ながら季節を感じて頂く 20名参加	山の塔ホール
5			
6	運動会	玉入れ、大縄跳び、パン食い競争等の競技 65名参加	大ホール
7			
8	夏祭り	出店で射的、輪投げ、かき氷等を楽しむ 61名参加	大ホール
9	敬老会	演芸猿回し 観覧 記念品贈呈 66名参加	大ホール
10			
11			
12	クリスマス会	サンタクロースとトナカイとク	大ホール

		リスマスの歌合唱と記念撮影 64名参加	居室
1	正月	新年のお祝いの言葉（クラスターの為挨拶のみ）	大ホール 居室
2	節分	豆まき、鬼と記念撮影 60名参加	大ホール
3	雛祭り	雛祭りの歌の合唱や甘酒配布記念撮影 63名参加	大ホール

(6) 双葉苑デイサービスセンター

ア 施設（事業所）行事実施状況

実施月	行事名	実施内容・参加者等	実施場所
4	花見	花見ドライブ	安部山など
5	鯉のぼり鑑賞	鯉のぼりドライブ	板櫃川
6	菖蒲鑑賞	菖蒲を見る	戸畑
7	おやつレク	アイスクリームを食べる	フロア
8			
9	敬老会	敬老会を行い賞状及び記念品を差し上げる	フロア
9	梨狩り	梨を買いに行く	田川
10	コスモスを見る	コスモスドライブ	遠賀川
11	紅葉を見る	紅葉ドライブ	英彦山など
12	クリスマス会	おかし等を食ベクリスマス会を行う	フロア
1	新年会	新年会を行う	
2	梅見	梅見ドライブを行う	三岳梅林など
3			

イ その他毎月定例の行事実施状況

行事名	実施内容・参加者等
買物レク	希望者はスーパーに買物に行く

(7) 地域密着型介護老人福祉施設 第二双葉苑

ア 施設（事業所）行事実施状況

実施月	行事名	実施内容・参加者等	実施場所
4	花見ドライブ	小倉周辺の桜の名所をドライブ 利用者8名参加	小倉南区 小倉北区
5			

6			
7	長尾校区納涼大会	校区で開催された納涼大会（花火）鑑賞 4名参加	長尾校区
8	夏祭り	小多機みのりにて開催された夏祭りに参加、金魚すくい、ヨーヨー釣り等を楽しむ。 15名参加	第二双葉苑内小多機みのり
9	敬老の日（お祝い）	敬老の日式典 米寿・ご長寿 95才以上の方 お祝い 獅子舞の演武（職員） 全利用者	第二双葉苑内きらりユニット
10			
11			
12	小倉南区ボランティアフェスタ参加	ボランティアチャリティー公演 旭ヶ丘子ども太鼓クラブ 百瀬ミュージックボランティアグループ による演劇、太鼓演武	小倉南障害学習センター
	クリスマス会	クリスマスパーティー	第二双葉苑
1	正月行事	新年の挨拶とカラオケ・ゲーム等	第二双葉苑
2	節分	豆まき 職員が鬼に扮して、各ユニットを廻り、節分を祝う	第二双葉苑
3	ひなまつり	お祝いと、記念写真撮影、	第二双葉苑

イ その他毎月定例の行事実施状況

行事名	実施内容・参加者等
外食外出（3月）	ご家族と連絡を取り、おやつ（ジョイフル）にて外食を楽しむ。

（8）グループホーム双葉荘

ア 施設（事業所）行事実施状況

実施月	行事名	実施内容・参加者等	実施場所
4	お花見	お花見。	高野公園
	おやつ作り	おやつ作りをする	双葉荘
5	母の日	母の日のお祝い	双葉荘
	おやつ作り	おやつ作りをする	双葉荘
6	父の日	父の日のお祝い	双葉荘
	おやつ作り	おやつ作りをする	双葉荘
7	七夕	短冊を書いて頂き飾る	双葉荘
	おやつ作り	おやつ作りをする	双葉荘

8	夏祭り	夏祭りの飾り付けをする	双葉荘
	おやつ作り	おやつ作りをする	双葉荘
9	敬老会	敬老式典とプレゼント	双葉荘
	おやつ作り	おやつ作りをする	双葉荘
10	ハロウィン	ハロウィンの飾り付けをする	双葉荘
	おやつ作り	おやつ作りをする	双葉荘
11	お茶会	お茶を立てて飲んで頂く	双葉荘
	外出レク	買い物をする	モール
12	クリスマス	飾り付けをする	双葉荘
	おやつ作り	おやつ作りをする	双葉荘
1	元旦	元旦のお祝いをする	双葉荘
	お茶会	お茶をたてる	双葉荘
2	節分	節分の飾り付けをおこなう	双葉荘
	おやつ作り	おやつ作りをする	双葉荘
3	ひな祭り	ひなだんの飾り付けを行なう	双葉荘
	おやつ作り	おやつ作りをする	双葉荘

(9) 地域密着型介護老人福祉施設 ふたばのその

施設（事業所）行事実施状況

実施月	行事名	実施内容・参加者等	実施場所
4	お花見	利用者様	駐車場
5	母の日	利用者様	ユニット
6	父の日	利用者様	ユニット
7	七夕レク	利用者様	ユニット
8	夏祭り	利用者様	ユニット
9	敬老会	利用者様	ユニット
10			
11	秋祭り	利用者様	ユニット
12	クリスマス会	利用者様	ユニット
1	初詣	利用者様	ユニット
2	節分	利用者様	ユニット
3	ひな祭り	利用者様	ユニット

(10) グループホーム ふたばのその

ア 施設（事業所）行事実施状況

実施月	行事名	実施内容・参加者等	実施場所
4	花見	利用者様	駐車場
5	母の日	利用者様	ユニット
6	父の日	利用者様	ユニット

7	七夕レク	利用者様	ユニット
8			
9	敬老会	利用者様	ユニット
10			
11	秋祭り	利用者様	ユニット
12	クリスマス会	利用者様	ユニット
1	初詣	利用者様	ユニット
2	節分	利用者様	ユニット
3	ひな祭り	利用者様	ユニット

イ その他毎月定例の行事実施状況

行事名	実施内容・参加者等
誕生日会	利用者様
お楽しみ昼食	利用者様

(11) 小規模多機能型居宅介護 ふたばのその

ア 施設（事業所）行事実施状況

実施月	行事名	実施内容・参加者等	実施場所
4	桜のお花見	ドライブ、利用者	苑外
5	端午の節句	かぶと作り、ちまき作り、利用者	苑内
6	あじさいドライブ	ドライブ、利用者	苑外
7	ひまわりドライブ	ドライブ、利用者	苑外
8	盆祭り	職員出し物、利用者	苑内
9	敬老祝賀会	職員出し物、祝賀会、利用者	苑内
10	運動会	種目別ゲーム、利用者	苑内
11	紅葉ドライブ	紅葉ドライブ、利用者	苑外
12	クリスマス会	職員出し物、ビンゴ大会、利用者	苑内
1	お正月	初詣、利用者	苑外
2	節分	節分パーティー、利用者	苑内
3	ひな祭り	ひな祭りパーティー、利用者	苑内

イ その他毎月定例の行事実施状況

行事名	実施内容・参加者等
お買い物レク	近隣でお買い物実施、利用者
お誕生日会	施設内にて、利用者

(12) 小規模多機能型居宅介護 ふたばのみより

ア 施設（事業所）行事実施状況

実施月	行事名	実施内容・参加者等	実施場所
4	お花見	近隣の桜鑑賞	志井川・施設周辺

		菜の花鑑賞ドライブ	田川香春
5	端午句	鯉のぼり作品の制作	施設内
		鯉のぼり鑑賞ドライブ	紫川
6	紫陽花会	紫陽花作品の制作	施設内
7	七夕	七夕作品の制作	施設内
8	夏祭り	夏祭りイベント	施設内
9	敬老会	敬老会イベント	施設内
10	ハロウィーンパーティー	ハロウィーンイベント	施設内
11	中秋の名月	風景画の制作	施設内
12	クリスマス会	クリスマスパーティー	施設内
1	新年会	新年会パーティー	施設内
2	バレンタインデー	お菓子作り	施設内
3	ひな祭り	おひな様パーティー	施設内

6 事故及びヒヤリハットの状況

児童、園児、高齢者施設の利用者の事故は、①職員が十分な注意を払っても起きる、いわゆる不可抗力によるもの、②職員らの不注意により生じるもの、③施設自体の欠陥によるものなどがあります。

事故の件数は160件で、4年度は214件でしたので減少しました。主な要因は、新型コロナウイルス感染症が大幅に減（4年度：104件⇒5年度：25件）となったものです。但し、コロナを除くと増加しています。（4年度：110件⇒5年度：128件）

起きた事故には速やかに対処すること（クライシスマネジメント）はもちろんですが、事故が発生する前にあらかじめいろいろな手立てをうっておくこと、備えておくこと（リスクマネジメント）が重要です。

ハインリッヒの法則やヒューマンエラーを十分に理解し、事故の要因分析を詳細に行い、要因に応じたきめの細かい未然防止の取り組みを行うことが必要です。今後とも、要因分析を行い「リスクマネジメント」の視点で、事故の未然防止に取り組みます。

また、児童養護施設では、職員による児童（措置児童ではない。）の盗撮と言った、事件が起きています。盗撮は、犯罪であり、重大な人権侵害です。措置児童の権利擁護を実現するため、引き続き、職員へは権利擁護教育、児童へは人権教育を行い、職員一丸となって再発防止及び信頼回復に努めます

（1）事故等の件数

	重大事故 (死亡・重症等)	事 故	ヒヤリハット	4年度事故	3年度事故
児童養護施設 双葉学園		29	4	59	37
児童養護施設 双葉学園みのり	1 (盗撮)	7	106	32	4
保育所 双葉保育園		4	1	21	
介護老人福祉施設 双葉苑		42	6	22	6
双葉苑ディサービスセンター		9	60	14	2
地域密着型介護老人福祉施設 第二双葉苑		22	29	12	13
グループホーム双葉荘		2	5	0	3
地域密着型介護老人福祉施設 ふたばのその		13		10	14
グループホームふたばのその		18	1	31	5
小規模多機能型居宅介護 ふたばのその		10	2	7	4
小規模多機能型居宅介護 ふたばのみのり	1 (転倒骨折)	2	6	6	5
計	1	158	220	214	93

(2) 事故の種別

児童養護施設では、事件と言ってよい、児童の無断外出、対職員暴力等が発生しています。原因の把握、再発防止策の実施状況の検証が必要です。

高齢者施設では、重大事故につながる、転倒が最も多く46.0%を占めています。また転落・滑落（ベッドからの滑り落ち等）も多く、両方で54.1%となっています。

転倒する原因としては、建物の構造などの外的な要因と、本人の年齢や運動機能、疾病、内服薬、転倒した経験などの内的な要因があるので、両面からの対策を行います。

施設名 事故の種別	児童養護		保育		高齢者施設							計
	双葉学園	双葉学園みのり	双葉保育園	双葉苑	デイサービスセンター	第二双葉苑	GH双葉荘	ふたのその	GHふたのその	ふたのその	ふたのみのり	
	(定員) 37	(定員) 45	(定員) 90	(定員) 54	(定員) 30	(定員) 29	(定員) 9	(定員) 29	(定員) 18	(定員) 29	(定員) 12	
転 倒	1	1		17		12		6	8	4	1	50
転落・滑落				2		4		4	4		2	16
骨 折	1		1			1						3
捻 挫												0
怪 我	4	1										5
接 触				19								19
誤飲・誤食	2											
異 食												0
誤 嚥												0
誤 薬							1	1		2		4
服薬忘れ				1		3						4
薬の紛失	2											
皮膚剥離						2		2				4
皮下出血												0
擦過傷・切傷	2						1			2		5
打 撲												0
熱傷・火傷	2											2
感染症(新型コロナ等)	7		3	2	8				5			25
交通事故					1							1
徘徊									1			1
自 傷												0
他 傷												0
脱 臼				1								
児童間性暴力												0
無断外出、無断外泊	5	1										6
児童のトラブル・喧嘩		1										1
児童間の不適切行為		1										1
児童間の問題行動	2											2
備品破損												0
職員の違法行為・不祥事		1										1
放置・放任												0
対職員暴力		2										
その他	1									2		3
計	29	8	4	42	9	22	2	13	18	10	3	153

7 苦情及び要望の状況

苦情等適切に対応することは「利用者満足」の観点から重要です。権利擁護の観点からも日常的に児童や園児、利用者及び家族等が自由に意見や苦情、要望等を言える環境づくりを引き続きすすめます。

苦情等については利用者の方が安心して生活していただくためにも、迅速な解決が必要です。引き続き、1週間以内の解決を目指して、対応するよう心がけます。

(1) 苦情等の件数

	苦 情	苦情申立者			要 望	4年度 苦情	3年度 苦情
		児童・ 利用者	家族	その他			
児童養護施設 双葉学園						4	3
児童養護施設 双葉学園みのり	6		2	4	2	2	6
保育所 双葉保育園	2		2			3	1
介護老人福祉施設 双葉苑	2		2			1	1
双葉苑ディサービスセンター							
双葉苑居宅介護支援事業所						1	1
双葉苑短期入所生活介護事業所						2	1
地域密着型介護老人福祉施設 第二双葉苑	1	1				1	1
グループホーム双葉荘							
地域密着型介護老人福祉施設 ふたばのその							
グループホームふたばのその							
小規模多機能型居宅介護 ふたばのその							
小規模多機能型居宅介護 ふたばのみのり					5		
計	11	1	6	4	7	14	14

2 苦情の概要

事業所名 (申出人)	苦情の内容	解決結果
双葉学園 みのり (入所児童 の実父)	・実父の児童への要望が聞き入れてもらえない。 実父が女子児童の整容面（眉毛の手入れ、髪型等）に関して、「眉を細く整えてほしい」「天然のウェーブを直してほしい」など施設側に要望してきた。 児童に確認し、施設から児童が実父の意向に同調していないことを伝えたところ、実父が施設を敵対視し、冷静な会話ができていない。	(未解決) ① 施設としては、整容面に問題は無いと考えているので、児童の意向を尊重している。 ② 実父は、児童がしばらく実父に会いたくないという意向を受け、半年は児童とも会わないし、施設からの連絡も一切しないでくれと申し入れがある。 ③ 子総に報告し、実父の現況から、しばらく施設から実父へコンタクトをとることは控えている。
双葉学園 みのり (入所児童 の実母)	・実母と職員との連携 児童の外出外泊について、実母から児童に伝えてほしいことと、職員が伝えたことが違っていったことへの苦情。 さらに、家庭引き取りに向けて子どもたちともっと関わろうとしているのに、3兄弟のそれぞれの担当職員の対応が違っていき、連携ができていない。近況報告も少ないという不満であった。	① 実母の話を傾聴し、実母からの連絡の窓口を一本化し、兄弟3人それぞれの情報を担当者と共有して実母との連携を密に図ることで安心してもらった。
双葉学園 みのり (その他： 近隣住民)	・騒音への苦情 20時以降に不穏な児童が学園前の道路で大きな声を出すことや、早朝の時間帯に学園の園内放送の音が聞こえたりする。	① 児童には近隣住人への配慮を考えるように注意喚起した。また、早朝の起床の放送は行わないようにした。 ② 屋外での行事を行う際には、事前に近隣住民にお断りの挨拶を行っている。
双葉学園 みのり (その他：	・隣家の壁の損傷 学園の対面の隣家の壁に児童がボールを当てて壁の内側に亀裂が入った。	① ボールの壁当てと、亀裂の因果関係は不明である。 ② 児童には壁にボール当てをしないよう指導を徹底した。

近隣住民)		③近隣住人は壁の弁償を希望しているので、必要な書類の提出を求めている。
双葉学園 みのり (その他: 専門学校)	・実習生への指導方法 実習生に対し十分な指導を行わず、出来てないことを指摘されショックを受けたとの報告を受けた。	① 学校に謝罪した。 ②職員へは、「実習生受け入れマニュアル」を守るよう徹底した。
双葉学園 みのり (その他: 児童アルバイト先店長)	・退職手続きの不備 児童が一方向的にアルバイト先にLINEで退職を伝え、その後の連絡がつかなくなったと店長が園を訪れた。 年末年始の時期と重なり迷惑をかけられたということが主訴であった。	①児童と実母に連絡したところ、措置解除に向けて実家での長期外泊を行ったが、実家が遠くアルバイト先へ通うことができないと判断し、退職の連絡をしたとのことであった。 ②両名に、退職の挨拶を直接会って行い、退職するよう伝えたが、児童の後ろめたい気持ちから難色を示していた。 ③数日してアルバイト先から退職手続きをしたので挨拶には来なくていい旨と、児童への指導を徹底してほしいと言われた。 ④学園のアルバイト規約を改定し、アルバイトを退職する際の約束事も追加する。すでにアルバイトをしている児童にも説明し周知した。
双葉保育園 (3歳児の母親)	・保護者とのコミュニケーションが不足 個人歓談日を2週間の期間内と設定されていたので日程の希望を述べたが、保育士の勤務の状況から期限外を設定された。	① 懇談会終了後に保護者から申し出があった。 ② 担任に確認すると、保護者との協議なしに日程を決めたことが判明したため、十分な協議を行ったうえで、日程を決定するように指導した。 ③ 保護者に謝罪した。
双葉保育園 (4歳児の父親)	・保育士の整容 担任の爪が長いので、子どもに当たった。(怪我はしていない)	① 担任に確認すると、爪が伸びており、危険な状況であった。保育現場では、子どもの安全性や衛生面で問題があるので、爪のケアに注意を払う必要がある旨を指導した。 ② 保育士本人から、「爪を切ります。」

		と発言があり、翌日、切ってきた。 ③ 現状を保護者に伝え謝罪した。
双葉苑 (家族)	・家族への情報伝達不足 体調不良について連絡したところ、事前に、体調の連絡がなく突然で驚いた。 病状と治療方針との説明は十分に行ってほしい。	① 介護主任と介護支援専門員の2名で自宅に訪問し、経過を報告し理解される。 ② 体調変化に留意し、些細なことでも連絡することとした。
双葉苑 (家族)	・家族への情報伝達不足 入院に際し、家族が同行したが、病状等について、十分な説明が無かった。	① 今回の様なミスが起きないように努めていく旨をお伝えし納得される。 ② 利用者情報について、十分に伝えていくこととした。
第二双葉苑 (利用者)	・入浴時間の遅延 入浴の迎えに来るのが遅い。	① ご家族に連絡し内容を報告後、ご家族が来園される。ご家族を交え、利用者と話をし、落ち着かれた。 ② 入浴は14:00～16:00に行っている。今後は、事前に、利用者個々人へ入浴時間を伝え、遅くなる場合は、再度本人へ伝えることとした。

8 各種会議の開催状況

職員間の意思統一を図るため、各種会議を行い、業務遂行の為のさまざまな情報の伝達とその確認、問題点の分析や解決策の立案、組織の意志決定等を行っています。

会議は、いろいろな人が組織的に活動して、所定の成果をあげるためにはなくてはならないものです。しかし一方でこの会議が形骸化したり形式的な行事になったりすると、時間や費用などその損失は図り知れないものがあります。会議を効率化し実効性のあるものにするため、会議をする目的や目標を考え実施します。

なお、議事録は会議終了後できるだけ早く作成し、正確に簡潔にまとめます。

(1) 児童養護施設 双葉学園

会議名	会議の内容	参加者	開催頻度
幹部会議	運営状況の分析・課題解決策の検証 職員会議の調整、支援の質の向上 委員会活動の支援	施設長、 幹部職員 計5名	第3木曜日 12回実施
職員会議	行事の確認・前月事業の確認 当月テーマの協議 情報の共有、伝達研修等	全職員	第1月曜日 12回実施
ケース会議	解決すべき問題や課題のある事例 を個別に深く検討し、その状況の理 解を深め対応策を検討する。	施設長、 幹部職員、 担当ケアワ ーカー、 専門職 計7名	適宜開催
小規模化推進ワーキング	小規模かつ地域分散化等による養 育機能の高機能化・多機能化、機能 転換等に向けた整備計画の促進	施設長、 幹部職員 計5名	第3木曜日 (～9月) 6回実施
リーダー会議	小規模かつ地域分散化による養育 機能の改善、見直しを行い円滑な運 営を可能とする。 ※小規模化推進会議から移行	施設長、 幹部職員 ユニットリ ーダー 地域小規模 リーダー 計11名	第4月曜日 (10月～) 6回実施
地域小規模・ユニット会議	児童ケース・各委員会活動・児童自 治会内容共有、 リーダー会議の報告、 当月目標・課題等の協議	各地域小規 模・ユニッ ト構成職員	毎月1回

(2) 児童養護施設 双葉学園みのり

会議名	会議の内容	参加者	開催頻度
運営委員会	問題点（経営状況）の分析、解決策の検討、職員会議提出議題等の調整。モニタリングの実施、処遇の質の向上	施設長 課長 係長	毎月 第3木曜日
職員会議	行事確認、前月行事反省、情報共有、当月設定テーマの協議、前月研修受講者の伝達、OJT個別ケース検討	全職員	毎月 第1木曜日
リーダー会議	各ユニットの気になる児童について分析、解決策の検討、ルールの確認、処遇の質の向上、学校行事についての情報共有、	施設長 課長 係長 ユニットリーダー 心理士	毎月 第3水曜日
ユニット会議	各ユニット全職員の参加、時には課長・係長も参加し、問題を抱えた児童への処遇の見直しや処遇の質の向上、行事等の確認	各ユニット職員 課長 係長	毎月 1回

(3) 保育所 双葉保育園

会議名	会議の内容	参加者	開催頻度
職員会議	毎月一回、職員会議を行い、意思の疎通を図る。 研修会、講演会、クラス状況、遊具点検状況報告、事業計画、研修計画の協議。 園長から、課題、懸案事項の説明。	園長 クラス代表保育士 代表調理員 事務員	毎月1回
集会	毎日、会議を行い、その日の連絡事項等を共通認識する。 園長や各担任等から、その日の重点項目、注意事項の説明。	園長 クラス代表保育士 代表調理員 事務員	毎日

(4) 介護老人福祉施設 双葉苑（短期入所生活介護事業所等と合同）

会議名	会議の内容	参加者	開催頻度
定例会	介護リーダーからのサービスの振り返り心得の確認、職員への伝達（行事予定、委員会の決定事項）	介護リーダー 介護職員 看護職員 介護支援専門員	月1回
リーダー会議	介護リーダーで、各グループの共通の注意事項などを伝達	各グループリーダー	月1回
グループ会議	各グループ単位での介護目標の確認と見直し、サービスの振り返り	各グループリーダー 介護職員	各グループ単位 毎月1回

(5) 地域密着型介護老人福祉施設 第二双葉苑

会議名	会議の内容	参加者	開催頻度
リーダー会議	利用者の状況報告や、連絡事項の伝達、課題についての意見交換 ユニット間の相談などを行っている。	施設長 介護支援専門員 生活相談員 ユニットリーダー 看護師	月1回
運営推進会議	事業所の状況報告、施設と地域との要望等の相談	各事業所担当者 高野町内会長 地域包括職員	2ヶ月1回

(6) グループホーム 双葉荘

会議名	会議の内容	参加者	開催頻度
双葉荘ミーティング	入居者様の状態について 行事の計画 運営会議内容の報告 その他、業務の見直し	管理者 看護師 介護職員	毎月

(7) 地域密着型介護老人福祉施設 ふたばのその

会議名	会議の内容	参加者	開催頻度
リーダー専門職会議	利用者様・職員等の問題点について解決策を話し合う	施設長 生活相談員 看護師 管理栄養士 リーダー	毎月1回
ユニット会議	介護業務を安全かつ効率的に行うために業務の見直しなどを行う	リーダー ユニット職員	毎月1回
給食会議	職員から提起された給食献立、行事食の栄養に関する事項の検討を行う。	管理栄養士	毎月1回

(8) グループホーム ふたばのその

会議名	会議の内容	参加者	開催頻度
ユニット会議	ユニットでの利用者様の健康状態等と業務内容	リーダー ユニット職員	月1回
専門職会議	新規利用者様の情報共有。 業務・ケアについての共有	管理者 看護師 介護支援専門員 リーダー	月1回 随時

(9) 小規模多機能型居宅介護 ふたばのその

会議名	会議の内容	参加者	開催頻度
ミーティング	・職員への伝達事項 ・利用者様について	管理者 介護支援専門員 看護師 介護職員	毎月

(10) 小規模多機能型居宅介護 ふたばのみより

会議名	会議の内容	参加者	開催頻度
事業所内ミーティング	・利用者の検討会 ・各利用者の生活状況の把握、支援目標について。 ・業務改善について。 ・介助方法の検討。 ・レクリエーション内容の検討。等	管理者 ケアマネージャー 介護職	毎月1回

9 各種委員会の活動状況

サービスの質の向上等を目指し、各種委員会活動を行いました。各種の問題点の発生原因の追究や防止策、対処方法について検討し評価を行っています。また、会議結果を踏まえて、職員に求められる有益な情報を整理し全職員に周知しています。

委員会活動は人材を投入し多くの時間をかけて行うものです。言い換えると、活動には多くのコストがかかります。したがって、中途半端な取り組みでは、成果が期待できないばかりか、投入したコストが無駄になります。

このようなことを避けるため、活動目標（目的）や検討期間・スケジュールを明確化し、検討プロセスと内容を組織内で共有化するとともに、改善案の実行までフォローします。

（１）児童養護施設 双葉学園

ア 給食委員会

実施月日	議題（テーマ）	出席者数
5.4.7	① 構成員紹介 ② 委員会設置運営要領・事業計画確認	7
5.5.11	① 行事予定確認 ② 衛生管理 ③ 小規模への食支援検討	8
5.7.6	① 衛生管理動画視聴 ② 小規模への食支援検討 ③ 新規小規模開設に向けて	7
5.9.7	① 行事予定確認 ② 小規模への食支援検討 ③ 本園改修工事について（厨房・食堂の改修内容確認）	8
5.10.2	① 行事予定確認 ② 小規模への食支援	8
5.11.6	① 行事予定確認 ② 小規模への食支援 ③ 厨房業務における留意点の確認	8
5.12.4	① 行事予定確認 ② 年末年始の食事提供について ③ 小規模への食支援 ④ 光熱水費の節制 ⑤ 衛生管理	9
6.1.9	① 行事振返り ② 小規模への食支援 ③ 衛生管理	8
6.2.1	① 行事予定 ② 小規模への食支援 ③ 感染症予防	6

	④ 次年度事業計画・予算案 ⑤ 本園 CW の調理体験	
6.3.4	① 行事予定確認 ② 安心安全な食事提供にむけて ③ 小規模への食支援 ④ 北養協給食部会の取組み	8

イ 広報委員会

実施月日	議題（テーマ）	出席者数
5.4.13	① 構成員紹介 ② 委員会設置運営要領・事業計画確認	7
5.7.12	① HP 運用 ② リーフレット作成 ③ 広報紙秋号発行 ④ 年賀状作成	6
5.12.2	① HP 運用 ② リーフレット作成 ③ 広報紙秋・春号発行 ④ クラウドファンディング	4
6.1.23	① HP 運用 ② 広報紙春号発行 ③ クラウドファンディング ④ 次年度事業計画・予算案	3
6.2.14	① HP 運用 ② 広報紙春号発行 ③ クラウドファンディング ④ 次年度事業計画・予算案	4

ウ 保健衛生管理委員会

実施月日	議題（テーマ）	出席者数
5.6.22	① 小児科係り付け医の選定、性の健康教育実施状況 ② 教育：救命研修の方法 ③ 委員会活動：児童の衛生管理・物品管理の担当制	6
5.9.26	① 年間計画進捗状況 ② 委員会活動：衛生・物品の監査方法 ③ 感染対策：小規模の隔離体制、地域の感染発生状況周知 ④ 児童の健康：外傷傾向と注意喚起	6
5.12.24	① 年間計画進捗状況 ② 教育：次年度に向けた性の健康の内容検討 ③ 物品管理：在庫僅少の対応 ④ 感染対策：感染性胃腸炎発生の振り返りと注意喚起	6
6.2.7	① 2023 年度年間計画の考察 ③ 各セクションの課題	5

エ 一日里親の会双葉支部

実施月日	議題（テーマ）	出席者数
5.6.6	1. 双葉学園支部会について ① 支部会の日程 ② 内容 2. 支部会員の大会と募集について ① 支部会員に確認 ② 新会員募集について	7
5.7.25	1. 一日里親家庭生活体験事業の活動費について ① 金額 ② 金額の振り分け ③ 領収書作成 ④ 活動費受け取れない方への対応 2. 新規会員募集について ① 7月広報活動 ② 会議参加者の意見と対応策 3. 会員の退会について ① 退会希望者 ② 会員へ送る手紙について	7
6.1.10	1. 令和6年1月・2月家庭生活体験事業について見直し ① 児童振り分け ② 家庭生活体験内容 ③ 学園公用車利用と職員の支援 2. 今後の家庭生活体験事業について	6
6.2.11	1. 家庭生活体験事業の反省等 ① 事後アンケートを基にした振返り 2. 2月・3月の家庭生活体験事業について ① 児童と里親のマッチング ② 中高生の家庭生活体験事業について ③ 今後の里親協力について 3. 令和6年度一日里親の会「双葉支部」事業計画 ① 事業計画・予算の確認 ② 里親と児童の顔合わせについて ③ 行事委員・社会貢献委員との連携について ④ 事業費の受け渡し方法の確認 ⑤ 体験時の児童の様子について 4. その他 ① 卒園祝い会について ③ 登録里親の活動期間について ③ 里親の身分証について	6

オ 社会貢献委員会

実施月日	議題（テーマ）	出席者数
5.5.17	① 地域行事について ② ボランティア受入れについて ③ ボランティア連絡について ④ R5月6月7日コーディネーター研修について	5

5.9.18	① 地域行事「風船バレー」について	5
6.3.25	① 令和6年度事業計画について ④ 令和5年度の反省	6

カ 行事委員会

実施月日	議題（テーマ）	出席者数
5.4.16	① 行事委員会構成員紹介 ② 令和5年度 双葉学園行事計画について ③ 令和5年度 施設機能強化推進費について ④ 双友会と行事委員会の関わりについて ⑤ 北養協バレーボール大会について ⑥ 小倉中央ロータリークラブについて ⑦ 招待行事について	8
5.6.15	① 6・7月学園行事について ② 今後の招待行事について ③ 長期休暇の過ごし方について ④ 行事計画書・事業報告書	4
5.8.11	① 8・9月の学園、招待行事について ② 衣類の購入について ③ 各行事における日程調整 ④ 家庭生活体験事業・一般事業について	4
5.10.13	① クリスマス会について ② 年末年始行事について	4
5.12.10	① クリスマス会について ② 年末年始行事について	4
6.2.15	① 年末年始行事について ② 卒園祝い会について ⑤ 次年度の行事計画について	4

キ 施設設備委員会

実施月日	議題（テーマ）	出席者数
5.4.7	① 新メンバー紹介 ② 令和4年度事業報告 ③ 令和5年度主要な取り組み	5
5.6.27	① 事業所ごみについて ② 施設内エアコン設備について ③ デジタル教材・ノートパソコン寄贈について	6
5.9.16	① 施設内外設備点検 ② 公用車使用について ③ 施設周辺の雑草除去について ④ 本園大規模改修と小規模開設に向けて	6
5.12.12	① 令和5年度事業活動経過報告について ② 令和6年度の活動について	6
6.3.16	① 本年度の事業活動報告 ③ 次年度の予定事業について	6

ク 安全安心委員会

実施月日	議題（テーマ）	出席者数
5.7.14	① 前回委員会協議に基づいた措置結果報告 ② 暴力・虐待・困っていること等に対する聴き取り結果 ③ 新規措置児童・児童処遇事例について	12
5.12.4	① 前回委員会協議に基づいた措置結果報告 ② 暴力・虐待・困っていること等に対する聴き取り結果 ③ 新規措置児童・児童処遇事例について	13
6.3.26	① 前回委員会協議に基づいた措置結果報告 ② 暴力・虐待・困っていること等に対する聴き取り結果 ③ 新規措置児童・児童処遇事例について	11

ケ 入退所検討委員会

実施月日	議題（テーマ）	出席者数
5.5.29	小5男児（M.S）、年少女児（H.K）の入所について	5
5.7.29	中1女児（T.H）の入所について	6
5.12.1	2歳女児（N.K）、年少女児（N.K）姉妹、中1男児（N.R）の入所について	6

（2）児童養護施設 双葉学園みのり

ア 運営委員会

実施月日	議題（テーマ）	出席者数
4月3日	4・5月職員会議議題の確認、BCP作成について、習い事について、キャリアパスについて他	6名
5月15日	6月職員会議議題の確認、地域小規模開設に向けて、ブータン訪問準備について他	5名
6月15日	7月職員会議の確認、地域小規模への取り組みについて、職員提案について、人材育成と確保について他	6名
7月20日	寄付品の受付について、稟議書の書き方指導について、夏休みの過ごし方について、職場文化の醸成について他	6名
8月23日	9月職員会議の確認、夏休み中の外泊・外出の状況確認 今後の研修計画他	6名
9月21日	10月の職員会議確認、新規職員採用計画、人事評価について、職員提案の対処方針について、監査について他	6名
10月19日	11月職員会議の確認、監査取り組みの反省・講評他	6名
11月21日	12月職員会議の確認、冬休みの行事について、地域小規模進捗状況について他	6名
12月20日	1月職員会議の確認、冬休みの行事について、地域小規模について他	6名
1月23日	2月職員会議の確認、令和6年度事業計画について、新ユニット編成について、新委員会について、職員分掌に	6名

	ついて他	
2月22日	3月職員会議の確認、新ユニット構成について、委員会の見直しについて、地域小規模について他	6名
3月14日	新規職員の勤務・研修について、令和6年度児童数の確認 ユニット構成について他	6名

イ 施設整備改善委員会

実施月日	議題（テーマ）	出席者数
4月10日	会議：年度委員会取り組みについて（役割分担）	5名
4月19日	消防設備総合点検	1名
4月19日	避難訓練（火災） 消防署への通報の仕方確認・避難器具の使用方法的確認について	職員12名 児童2名
5月21日	避難訓練（地震） 地震発生時の避難方法の確認について	職員8名 児童42名
6月20日	会議：自転車点検・利用方法について	2名
6月25日	避難訓練（水害） 水害発生時の避難方法の確認について	職員17名 児童41名
7月23日	避難訓練（火災） 夜間体制時の避難方法確認について	職員10名 児童42名
8月17日	避難訓練（水害） 水害発生時の避難方法確認について	職員12名 児童38名
9月2日	会議：公用車の点検方法について 事故防止及び対応マニュアルについて	3名
9月29日	消防設備機器点検	1名
9月29日	避難訓練（火災） 消火器配置場所の確認・消火器の使い方確認について	職員9名 児童3名
10月7日	避難訓練（地震） 地震発生時の避難方法の確認について	職員7名 児童42名
11月19日	避難訓練（防犯） 不審者侵入時の避難方法の確認について	職員17名 児童41名
12月29日	避難訓練（火災） 火災発生時の避難方法の確認について	職員10名 児童29名
1月25日	避難訓練（火災） 火災発生時の避難方法の確認について ※日中の児童不在時間帯の訓練（児童へは避難経路の周知を行っている）	職員9名

2月24日	避難訓練（地震） 地震及び2次災害の火災が発生した際の避難方法の確認について	職員9名 児童35名
2月28日	会議：今年度の振り返り、改善事項の検討 令和6年度取り組むべきこと・課題 その他、検討事項	4名
3月13日	避難訓練（火災） 1年間の振り返りと避難器具の使用方法的確認について	職員10名 児童5名
3月13日	消防設備総合点検	1名
3月19日	会議：令和6年度の共有スペース掃除方法について	4名

ウ 給食委員会

実施月日	議題（テーマ）	出席者数
5月10日	・ユニット調理の件（月2回へ変更。4月にスーパーの見学、ユニットで献立決め→購入→購入の流れを確認）	6名
6月8日	・ユニット調理の反省・変更点等の話し合い ・厨房、おやつ倉庫の清掃について	7名
7月6日	・今後の調理に必要な道具等の確認 ・児童のお弁当、学生パン、おにぎりの把握方法について ・食中毒強化月間（衛生管理の確認）	6名
8月30日	・児童の要望対応について（好き嫌いの対応する範囲について、栄養士、調理員の意見をまとめる）	4名 （厨房のみ）
9月25日	・児童の要望対応について（8月給食会議でまとめた意見を踏まえて施設長、課長と検討） ・来月の監査に向けて（昨年度の指摘確認、衛生管理、清掃）	3名
11月2日	・今年度監査の反省 ・年末の行事について確認	6名
1月19日	・年末の行事反省（クリスマス、餅つき、お正月） ・節分の日の行事食について ・今年度の給食費状況について確認	6名
2月7日	・3月卒園祝い会、お別れ会の食事内容について ・来年度4月からの給食提供について（小規模） ・給食費の値上げ、検食簿の食費免除の廃止について	5名
3月30日	・今年度の反省 ・来年度のユニット確認（小規模状況について）	5名 （厨房の

	・来年度の給食予算の確認、弁当数など	み)
--	--------------------	----

エ 社会貢献委員会

実施月日	議題（テーマ）	出席職員数
4月8日	美化パトロール	2名
5月13日	美化パトロール	2名
5月21日	子供菜園作り開所式・玉ねぎの収穫・窯開き(焼き芋)	3名
6月10日	美化パトロール	2名
6月18日	こども菜園作り（雨天中止）	
7月8日	美化パトロール（雨天中止）	
7月16日	こども菜園作り 夏野菜の収穫・収穫祭	2名
9月9日	美化パトロール	1名
9月17日	こども菜園作り 冬野菜の苗植え	3名
10月14日	美化パトロール	2名
10月22日	こども菜園作り さつま芋堀り・畝づくり	3名
11月19日	玉ねぎの苗植え・芋のスイーツづくり	3名
2月17日	こども菜園作り 閉所式・収穫祭	3名
3月9日	美化パトロール	1名

オ 保健衛生委員会

実施月日	議題（テーマ）	出席者数
4月20日 ～29日	園全体の衛生チェック	3名
5月30日 ～6月2日	園全体の衛生チェック	3名
6月26日	保健衛生委員会（衛生チェックについて・感染症マニュアルについて・玄関の靴や傘について）	3名
6月30日・ 7月1日	園全体の衛生チェック	3名
7月29日	園全体の衛生チェック	3名
8月23日 ～31日	園全体の衛生チェック	3名
9月19日 ～25日	保健衛生委員会（監査の準備・感染症マニュアルについて）	3名
9月22日	園全体の衛生チェック	3名

～26日		
10月26・27日	園全体の衛生チェック	3名
11月27日 ～30日	園全体の衛生チェック	3名
12月11日	保健衛生委員会（衛生チェックについて・窓掃除について・BCPと感染症マニュアルについて）	3名
1月28日 ～31日	園全体の衛生チェック	3名
2月17日	保健衛生委員会（令和5年度の成果と課題について）	3名
2月26・27日	園全体の衛生チェック	3名
3月30・31日	園全体の衛生チェック	3名

カ 研修委員会

実施月日	議題（テーマ）	出席者数
8月29日	ケース協議研修で扱う事例の選別	2名
1月29日	今年度の反省と来年度の展望	2名

キ 安全安心委員会

実施月日	議題（テーマ）	出席者数
4月20日	本年度の委員会の運営方針の確認。	3名
5月2日	児童への委員会の聴き取りにおける重点項目の確認。	2名
6月27日	聴き取り結果のとりまとめ及び対応についての確認。	3名
7月10日	本園委員との資料の確認。	3名
7月14日	第1回安全安心委員会	14名
9月5日	職員による暴言など起きていないかの確認。	3名
10月31日	聴き取り結果の男女別の結果のとりまとめを実施	3名
12月4日	委員会の追加議題への検討及び第2回安全安心委員会	14名
3月14日	聴き取り結果に基づく内容確認と対応報告。	3名
3月14日	第3回安全安心委員会	9名

ク 学習委員会

実施月日	議題（テーマ）	出席者数
4月2日	本年度の委員会の到達目標について 家庭学習定着のための取組について	5名
5月18日	学習ボランティアの活用方法について	4名
7月11日	絵画コンクールに向けた作品制作について	6名

9月14日	夏休みの学習状況について	5名
11月17日	来年度予算を申請する活動について	4名
1月30日	職業選択の幅を広げる社会体験への参加について	4名
3月8日	今年度の委員下記活動における成果と課題について	4名

(3) 保育園

委員会は設置していない。

(4) 介護老人福祉施設 双葉苑（双葉苑短期入所生活介護事業所等と合同）

ア 褥瘡予防委員会

実施月日	議題（テーマ）	出席者数
5.5.8	・年間目標・現在の状況・褥瘡予防具使用状況・褥瘡発生防止についての今後の取り組み	6名
5.8.14	・現在の状況・褥瘡予防具使用状況・評価・褥瘡発生防止についての今後の取り組み	6名
5.11.27	・年間目標・現在の状況・褥瘡予防具使用状況・褥瘡発生防止についての今後の取り組み	6名
6.2.8	・年間目標・現在の状況・褥瘡予防具使用者状況・褥瘡発生防止についての今後の取り組み・評価	6名

イ 安全推進委員会

実施月日	議題（テーマ）	出席者数
5.5.15	・年間目標・本年度の実施事項・職場内の安全対策・メンタルヘルスケア,ストレスマネジメントの実施	6名
5.8.21	・職員健康診断・職場内の安全対策・メンタルヘルスケア,ストレスマネジメントの実施	6名
5.8.20	・特殊浴槽新設について・環境面での危険因子について・衛生面について	4名
6.3.1	・職員健康診断・職場内の安全対策	5名

ウ 事故防止対策委員会

実施月日	議題（テーマ）	出席者数
5.5.22	・事故の再発防止について（3月～5月）・ヒヤリ報告・事故報告	6名
5.6.11	・事故発生・再発防止・発生時対応カンファレス 3.4.5 月度対策会議	16名
5.8.28	・事故の再発防止について（6月～8月）・ヒヤリ報告・事故報告	6名
5.11.27	・事故の再発防止について（9月～11月）・ヒヤリ報告・	6名

	事故報告	
6.2.28	・事故の再発防止について（12月～2月）・ヒヤリ報告・事故報告	5名

エ 身体拘束廃止・虐待防止委員会

実施月日	議題（テーマ）	出席者数
5.5.1	・年間目標・身体拘束廃止・虐待防止についての取り組み	6名
5.8.7	・身体拘束廃止についての取り組み・虐待防止への取り組み	6名
5.12.11	・身体拘束廃止・虐待防止についての取り組み・内部外部研修について	6名
6.2.15	・身体拘束廃止・虐待防止についての取り組み・内部外部研修について	5名

オ 感染対策委員会

実施月日	議題（テーマ）	出席者数
5.2.27	・新型コロナウイルス対策について	6名
5.5.29	・新型コロナウイルス・感染者について・感染対策について	6名
5.8.17	・新型コロナウイルス・感染者について・感染対策について	6名
5.11.17	・新型コロナウイルス・感染者について・感染対策について	6名
6.2.8	・新型コロナウイルス・感染者について・感染対策について	6名

（５）地域密着型介護老人福祉施設 第二双葉苑

ア 感染症及び食中毒委員会

実施月日	議題（テーマ）	出席者数
4月26日	感染症、食中毒の感染防止について ノロウイルスによる食中毒・尿路感染症・薬剤耐性菌の感染防止対応について 衛生的な手洗いについて	8
7月21日	感染症、食中毒の感染防止について 食中毒予防・熱中症予防・手洗いの徹底について	8
10月20日	感染症、食中毒の感染防止について 食中毒警報発令 及び 各場面での手指消毒について	8

1月6日	感染症、食中毒の感染防止について 感染性胃腸炎の感染予防対策について	8
------	---------------------------------------	---

イ 事故防止検討委員会

実施月日	議題（テーマ）	出席者数
4月26日	事故防止・事故後の対応について 緊急の対応について・事故防止の必要性 発生した事故の周知と再発防止策の徹底について	8
7月21日	事故防止・事故後の対応について 発生した事故の周知と再発防止策の徹底について	8
10月20日	事故防止・事故後の対応について 事故報告・ヒヤリハット報告・ヒヤリハットの重要性について	8
1月6日	事故防止・事故後の対応について	8

ウ 虐待防止・身体拘束適正化委員会

実施月日	議題テーマ)	出席者数
4月26日	高齢者虐待防止のために	8
7月21日	虐待防止策に関する視点 職員に対しての定期研修の必要性について	8
10月20日	高齢者虐待とは 高齢者へ虐待と事例 について	8
1月6日	要介護施設従事者等による高齢者虐待として対応すべき 範囲や定義 高齢者虐待のとらえ方と合わせて具体例について	8

エ 褥瘡委員会

実施月日	議題テーマ)	出席者数
4月26日	褥瘡について 発生した褥瘡についての経過と対応について	8
7月21日	褥瘡について 発生した褥瘡についての経過と対応について	8
10月20日	褥瘡について 発生した褥瘡についての経過と対応について	8
1月6日	褥瘡について 発生した褥瘡についての経過と対応について	8

(6) グループホーム双葉荘

ア 感染症対策委員会

実施月日	議題（テーマ）	出席者数
4/28	感染症対策～コロナウイルス対策～	6
9/19	感染症対策～コロナウイルス対策～	6
12/21	感染症対策～O-157 ノロウイルス 嘔吐物処理～	6

イ 事故防止委員会

実施月日	議題（テーマ）	出席者数
5/24	ヒヤリハット・事故報告書・事故再発防止	6
10/13	上半期事故件数報告・事故再発防止	6
3/21	年間事故報告・事故再発防止	5

ウ 虐待・身体応足防止委員会

実施月日	議題（テーマ）	出席者数
4/28	虐待・身体拘束防止について 各利用者の対応状況の確認	6
7/21	虐待・身体拘束防止について 各利用者の対応状況の確認	6
10/13	虐待・身体拘束防止について 各利用者の対応状況の確認	6
1/26	虐待・身体拘束防止について 各利用者の対応状況の確認	6

(7) 地域密着型介護老人福祉施設 ふたばのその

ア 褥瘡予防委員会

実施月日	議題（テーマ）	出席者数
5.4.20	褥瘡予防について	7
5.10.18	褥瘡予防について	7

イ 感染予防委員会

実施月日	議題（テーマ）	出席者数
5.4.20	食中毒予防について	7
5.5.11	新型コロナウイルス予防について	7
5.6.10	口腔ケアについて	7
5.8.24	医療関連施設における感染対策について	7

5.10.18	インフルエンザ対策について	7
6.1.12	インフルエンザ対策について	7

ウ 身体拘束・虐待防止委員会

実施月日	議題（テーマ）	出席者数
5.4.9	身体拘束廃止研修	17
5.6.19	職員に対してのアプローチ	7
5.9.21	身体拘束・虐待防止の内容について	7
5.11.19	虐待防止・定義について	16
6.3.25	身体拘束・虐待について	16

エ 入所検討委員会

実施月日	議題（テーマ）	出席者数
5.5.20	入所待機順判定会議・特例入所待機順判定会議	8
5.11.20	入所待機順判定会議	8

（8）グループホーム ふたばのその

身体拘束・虐待防止委員会

実施日	議題（テーマ）	講師	出席者数
5. 5. 11	身体拘束について	管理者	8
5. 8. 17	虐待について	管理者	9
5. 11. 16	スピーチロックについて	管理者	8
5. 2. 15	スピーチロックの事例検討	管理者	9
5. 3. 21	令和5年度総括	管理者	10

（9）小規模多機能型居宅介護施設 ふたばのその

ア 事故防止委員会

実施月日	議題（テーマ）	出席者数
R5,5月	介護事故における事故等防止対策について	10名
R5,10月	上半期事故報告・介護施設による転倒事故	7名
R6,3月	下半期事故報告・移乗時にまつわる事故対策について	8名

イ 感染症予防対策委員会

実施月日	議題（テーマ）	出席者数
R5,4月	感染症予防対策について・コロナウイルス対策について	9名

R5,9月	感染症予防対策について・O157対策について	6名
R5,12月	感染症予防対策について・インフルエンザについて	7名

ウ 虐待・身体拘束防止委員会

実施月日	議題（テーマ）	出席者数
R5,6月	高齢者虐待防止・身体拘束防止について 事例検討会	8名
R5,11月	高齢者虐待防止・身体拘束防止について 事例検討会	9名

（10）小規模多機能型居宅介護施設 ふたばのみのり

ア 感染症対策委員会

実施月日	議題（テーマ）	出席者数
令和5年 4月28日	研修：感染症対策について～コロナウイルス対策など～	6名
5月24日	感染症対策状況について（施設内ラウンド）	2名
6月28日	感染症対策状況について（施設内ラウンド）	2名
7月27日	感染症対策状況について（施設内ラウンド）	2名
8月24日	感染症対策状況について（施設内ラウンド）	2名
9月19日	研修：感染症対策について～コロナウイルス対策など～	6名
10月13日	感染症対策状況について（施設内ラウンド）	2名
11月27日	感染症対策状況について（施設内ラウンド）	2名
12月21日	研修：感染症対策について～O157対策・嘔吐物処理など～	6名
令和6年 1月29日	感染症対策状況について（施設内ラウンド）	2名
2月29日	感染症対策状況について（施設内ラウンド）	2名
3月29日	感染症対策状況について（施設内ラウンド）	2名

イ 事故防止委員会

実施月日	議題（テーマ）	出席者数
令和5年 4月28日	4月ヒヤリハット・事故報告書について	2名
5月24日	研修：ヒヤリハット・事故報告書・事故再発予防について ◇介護事故の未然防止・	7名

	◇安全推進マニュアル～転倒・転倒などの事故防止～ 5月ヒヤリハット・事故報告書について	
6月28日	6月ヒヤリハット・事故報告書について	2名
7月27日	7月ヒヤリハット・事故報告書について	2名
8月24日	8月ヒヤリハット・事故報告書について	2名
9月19日	9月ヒヤリハット・事故報告書について	2名
10月13日	研修：上半期事故報告・事故再発予防について ◇介護事故を防止するために必要な4つの重要事項 10月ヒヤリハット・事故報告書について	6名
11月27日	11月ヒヤリハット・事故報告書について	2名
12月21日	12月ヒヤリハット・事故報告書について	2名
令和6年 1月29日	1月ヒヤリハット・事故報告書について	2名
2月29日	2月ヒヤリハット・事故報告書について	2名
3月28日	研修：年間事故報告・事故再発予防について ◇介護リスクマネジメントと介護事故の防止 ～介護の事故防止活動の基本を考えよう～ 3月ヒヤリハット・事故報告書について	6名

ウ 虐待・身体拘束委員会

実施月日	議題（テーマ）	出席者数
令和5年 4月28日	施設内での虐待・身体拘束の現状確認	2名
5月24日	施設内での虐待・身体拘束の現状確認	2名
6月28日	研修：高齢者虐待防止の基本 施設内での虐待・身体拘束の現状確認	5名
7月27日	施設内での虐待・身体拘束の現状確認	2名
8月24日	施設内での虐待・身体拘束の現状確認	2名
9月29日	施設内での虐待・身体拘束の現状確認	2名
10月13日	施設内での虐待・身体拘束の現状確認	2名
11月27日	研修：高齢者虐待・身体拘束の実態 施設内での虐待・身体拘束の現状確認	6名
12月21日	施設内での虐待・身体拘束の現状確認	2名
令和6年 1月29日	施設内での虐待・身体拘束の現状確認	2名
2月29日	施設内での虐待・身体拘束の現状確認	2名
3月28日	施設内での虐待・身体拘束の現状確認	2名

10 職員研修の実施状況

人材の育成を主目的として内部研修を実施し外部研修に参加をさせました。

ただ、研修の成果という点では、評価が十分に行われていないため難しい点があります。研修成果を組織として共有するための復命会が十分に行われてなく、個人レベルの情報や知識に終わっている点もあります。

今後も、OJT研修を主体とし、職種別・階層別の多種多様な外部研修に参加させ職員の資質向上を目指します。

また、研修成果を組織全体の成果とするための、復命会の実施や内部研修を中心に開催することで、より多くの職員に研修機会を付与し、基本を身につけ全体の底上げを図ります。

(1) 児童養護施設 双葉学園

ア 職場内研修実施状況

研修名	実施日	講 師	出席者数
新規採用職員研修会	4月11日	理事長、業務執行理事	13名
性教育	4月17日	看護師	5名
新規採用職員研修会	4月18日	施設長、三浦ケアワーカー	13名
性教育	4月19日	看護師	4名
性教育	4月25日	看護師	3名
性教育	4月26日	看護師	4名
コンプライアンス研修会	7月6日	業務執行理事	全職員
人権啓発研修	9月7日～ 10月10日	アニメーション鑑賞	全職員
新規採用職員研修会	11月5日	地域小規模施設見学等	8名
性教育研修会	12月13日	多目的ホール	13名

イ 外部研修・講習会等参加状況

研修名・講習会名	実施日	主催者	出席者数
初任者Ⅰ研修会	5月8日	北養協研修委員会	9名
中堅・上級者研修会	5月18日	北養協研修委員会	5名
レクリエーション研修会	5月30日	北養協研修委員会	4名
九州地区児童福祉研究大会	6月13～15日	九州社会福祉協議会連合会	1名
栄養士研修会	6月23日	北養協給食部会	1名
県内視察研修会	6月26日	北養協研修委員会	4名
初任者Ⅱ研修会	7月5日	北養協研修委員会	5名
ケアワーカー専門職合同研修会	7月7日	ケアワーカー部会	1名
コンプライアンス研修会	9月6日	北養協研修委員会	6名
看護師研修会	9月14日	看護師部会	1名
初任者Ⅲ研修会	9月22日	北養協研修委員会	3名
里親支援専門相談員研修会	9月29日	福岡県児童養護施設協議会	1名

北九州市社会福祉大会	10月18日	北九州市社会福祉協議会	1名
福岡県看護師部会研修会	10月18日	福岡県看護師部会	2名
家庭支援専門相談員部会 子ども総合センター合同研修会	10月19日	家庭支援専門相談員部会	1名
栄養士研修会	10月26日	給食部会	1名
里親支援専門相談員研修会	11月15日	里親支援専門相談員部会	1名
県外視察研修会	11月16～17日	北養協研修委員会	4名
研修指導者養成研修会	11月20～22日	全国児童養護施設協議会	1名
福岡県社会福祉大会	11月23日	福岡県社会福祉協議会	1名
北養協・子総合同研修会	11月27日	北養協研修委員会	5名
里親視線専門相談員研修会	11月28日	福岡県児童養護施設協議会	1名
事務職員研修会	11月29日	事務員部会	2名
ケアワーカー専門職合同研修会	12月8日	ケアワーカー部会	6名
給食研修会	12月15日	給食部会	4名
管理監督者研修会	1月17～18日	北養協研修委員会	3名
性教育研修会	1月31日	北養協研修委員会	5名
福岡県養協職員研修会	2月21～22日	福岡県児童養護施設協議会	3名
リフレッシュ研修会	3月6日	北養協研修委員会	5名
里親支援専門相談員研修会	3月14日	福岡県児童養護施設協議会	1名

(2) 児童養護施設 双葉学園みのり

ア 職場内研修実施状況

研修名	実施日	講 師	出席者数
新規採用職員研修	4月11日	理事長 業務執行理事	4名
処遇困難児研修	6月26日	樋口陽子（キャリアサポート クラブ）	7名
コンプライアンス研修	7月12日	業務執行理事	新採4名
ケース協議研修会	10月30日	樋口陽子	16名
メンタルヘルス研修	12月6・13日	心理療法担当職員	11名

イ 外部研修・講習会等参加状況

研修名・講習会名	実施日	主催者	出席者数
初任者研修Ⅰ	5月8日	北養協	4名
中堅・上級職員研修	5月18日	北養協	4名
レクリエーション研修	5月30日	北養協	4名
九州児童福祉施設職員研究 大会	6月13～15 日	九州社会福祉協議会連合会 九社連児童養護施設協議会 佐賀県社会福祉協議会 佐賀県児童養護施設協議会	1名
県内施設視察研修会	6月26日	北養協	3名
初任者研修Ⅱ	7月5日	北養協	3名

アドボカシー研修	7月1.15. 22日	NPO 法人福岡県 子どもアドボカシーセンター	4名
給食施設管理者等研修	7月11日	北九州市保健福祉局 健康推進課	1名
社会福祉施設従事者研修	7月26・27 日	社会福祉法人北九州市福祉 事業団 北九州市社会福祉研修所	1名
九州里親地区里親研修会	7月29日	全国里親会九州地区里親連 絡協議会	1名
社会福祉法人経営者セミナー	8月25日	福岡県社会福祉法人 経営者協議会	1名
コンプライアンス研修	9月6日	北養協	3名
初任者研修Ⅲ	9月22日	北養協	2名
令和5年度クローバー会	9月23日	福岡県里親会	1名
甲種防火管理者資格取得講 習会	10月18・19 日	北九州市消防局	1名
甘木山学園研修会	10月18日	甘木山学園	1名
家庭支援専門相談員研修	10月19日	北養協	2名
感染症対策研修会	10月21日	保健福祉局	1名
ファミリーソーシャルワー ク研修会	10月22・23 日	全国社会福祉協議会 中央福祉学院	1名
地域生活課題の解決に向け たソーシャルワーク研修	10月26日	北九州市社会福祉協議会	1名
里親支援専門相談員研修	11月15日	北養協里親支援専門相談員	1名
北養協県外研修	11月16・15 日	北養協	3名
全国退所児童等支援事業連 絡会	11月20日	社会福祉法人全国社会福祉 協議会	1名
社会福祉法人マネジメント スキル講座	11月27日	全国社会福祉法人経営者協 議会	2名
北養協・子総合同研修会	11月27日	北養協	5名
ケアワーカー部会研修	12月8日	北養協	2名
全国退所児童等支援事業連 絡会	12月8日	社会福祉法人全国福祉協議 会	1名
性的虐待等に関する専門研 修	12月12日	国立きぬ川学院	4名
管理監督者研修	1月17日～ 18日	北養協	3名
全国退所児童等支援事業連	1月18日	社会福祉法人全国福祉協議	1名

絡会		会	
全国若者自立支援プロジェクト	1月19日	東京ボランティア・市民活動センター	1名
性教育研修会	1月31日	北養協	5名
令和5年度社会福祉法人が 取り組む権利擁護研修会	2月2日	福岡県社会福祉協議会	1名
ケアワーカー部会研修	2月25日	福岡県児童養護施設協議会	2名
リフレッシュ研修	3月6日	北養協	2名

(3) 双葉学園 児童家庭支援センター
外部研修・講習会等参加状況

研修名・講習会名	実施日	主催者	出席者数
九州地区児童家庭支援センター協議会総会・研修	6月2日	九州児童家庭支援センター協議会	2名
全国児童家庭支援センター協議会実務者研修	7月21日	全国児童家庭支援センター協議会	1名
北九州地区児童養護施設等 心理士連絡協議会	7月21日	子ども総合センター	1名
子ども家庭ソーシャルワーク 専門職員養成研修	10月27日	全国子ども家庭養育支援研究会	2名
九州児家セン連絡会 特別講演	11月1日	九州児童家庭支援センター協議会	2名
里親支援専門相談員部会 研修会	11月15日	北九州里親支援専門相談員部会	2名
子ども家庭ソーシャルワーク 研修	1月12日	全国子ども家庭養育支援研究会	1名
北九州地区児童養護施設等 心理士連絡協議会	2月9日	子ども総合センター	1名

(4) 保育所 双葉保育園
ア 職場内研修実施状況

研修名	実施日	講師	出席者数
気になる子について	4/21	園長	8名
クラスで困っていること、コミュニケーションについて	5/24	〃	3名
〃	5/27	〃	5名
水あそび、感染症について	6/26	〃	5名
〃	6/27	〃	3名
運動会について	7/20	〃	3名

〃	7/20	〃	5名
〃	7/20	〃	2名
生活発表会について	10/14	〃	3名
〃	10/18	〃	2名
〃	10/27	〃	2名
気になる子について（経過）	10/30	〃	8名
自己評価記入	12/28	〃	10名
気になる子についての話し合い	2/14	〃	3名
1年を振り返って、卒園式の役割、気になる子など	2/29	〃	8名
次年度に向けて、入園・進級式、新年度役割分担	3/13	〃	8名

イ 外部研修・講習会等参加状況

研修名・講習会名	実施日	主催者	出席者数
全国保育研究大会	6/14. 15. 16	全国保育士会	1
食事研究部	6/30	小倉南区保育士会	1
給食献立伝達研修	7/10	子ども家庭局保育課	1
実践ゼミ	7/13	小倉南区保育士会	1
リーダー研修	7/25	北九州市保育士会	1
相談員研修会	9/4	北九州市保育士会	1
公定価格単価に関する研修会	10/16	私立保育連盟	1
施設長特別研修会	11/2	北九州市	1
北九州市保育研修大会	11/3	北九州市	1
保健衛生・安全対策研修	11/8. 20. 22	社会福祉研究所	1
器楽研修	6/24 7/29 9/2 10/21 11/11 12/6 1/6 2/3	小倉南区保育士会	1
職員専門研修会	11/22	福岡県保育協会	1
保育所（園）長研修	12/7	社会福祉研修所	1
食育アレルギー対応研修	2/1. 6. 21	社会福祉研修所	1
北九州市保育セミナー2023	2/13	私立保育連盟	1
給食献立伝達研修	2/19	子ども家庭局保育課	1
食事研究部	2/29	小倉南区保育士会	1

(5) 介護老人福祉施設 双葉苑

ア 職場内研修実施状況

研修名	実施日	講 師	出席者数
「日中、夜間帯の救急対応／酸素ボンベの使用方法」	5. 3. 26	徳重看護職員	14 名
「身体拘束廃止について」	5. 6. 18	柳瀬介護職員	12 名
「虐待防止と指針研修」	5. 7. 23	佐々木介護職員	13 名
「食中毒について」	5. 7. 30	桑田看護職員	8 名
「褥瘡予防／ポジショニング研修」	5. 8. 20	柳瀬介護職員	13 名
「リスクマネジメント研修」	5. 9. 24	柳瀬介護職員	11 名
「介護職の接遇マナーとは？重要性とキホンの 5 原則」	5. 10. 22	吉本介護職員	10 名
「事故防止研修」	5. 11. 26	佐々木介護職員	13 名
「ハラスメント研修」	5. 11. 26	小川相談員	13 名
「介護福祉士実習指導者講習会」	5. 12. 10	吉本介護職員	9 名
「虐待防止研修」	5. 12. 10	佐々木介護職員	10 名
「ポジショニングケアのポイント」	6. 3. 17	佐々木介護職員	10 名

イ 外部研修・講習会等参加状況

研修名・講習会名	実施日	主催者	出席者数
新任職員研修（オンライン研修）	5. 5. 23～ 5. 5. 25	社会福祉法人北九州市福祉事業団北九州市社会福祉研修所	1 名
身体拘束廃止の適正化のための指針作成（オンライン研修）	5. 6. 21	社会福祉法人北九州市福祉事業団北九州市社会福祉研修所	1 名
介護福祉士実習指導者講習会	5. 6. 27 5. 6. 30 5. 7. 4 5. 7. 7	公益社団法人福岡県介護福祉士会	1 名
高齢者施設における個人の尊厳を支える実践（オンライン研修）	5. 6. 28	社会福祉法人北九州市福祉事業団北九州市社会福祉研修所	1 名
高齢者虐待防止のための指	5. 7. 5	社会福祉法人北九州市	1 名

針策定の実際 A コース（オンライン研修）		福祉事業団北九州市社会福祉研修所	
ケアマネジメントセミナー（基礎編）（オンライン研修）	5. 7. 14	社会福祉法人北九州市福祉事業団北九州市社会福祉研修所	1 名
BCP（事業継続計画）作成の実際（入所系）（オンライン研修）	5. 8. 22	社会福祉法人北九州市福祉事業団北九州市社会福祉研修所	1 名
福岡県高齢者権利擁護等推進研修権利擁護推進員養成研修	5. 7. 20 5. 8. 1 5. 8. 29	社会福祉法人福岡県社会福祉協議会	2 名
身体拘束廃止研修 A コース（オンライン研修）	5. 9. 26	社会福祉法人北九州市福祉事業団北九州市社会福祉研修所	1 名
安全推進者養成のための「腰痛、転倒災害防止研修」	5. 11. 2	一般社団法人安全衛生人材開発協会	1 名
認知症介護基礎研修 e ラーニング（オンライン研修）	5. 11. 21	社会福祉法人東北福祉会認知症介護研究研修仙台センター	1 名
記録技術研修「高齢者分野」	5. 12. 7	社会福祉法人福岡県社会福祉協議会	1 名
介護福祉士実習指導者講習会	5. 10. 26 5. 11. 9 5. 11. 16 5. 11. 22	公益社団法人福岡県介護福祉士会	1 名
感染症予防研修（後期）（オンライン研修）	5. 12. 6	社会福祉法人福岡県社会福祉協議会	1 名

（6）双葉苑ディサービスセンター
職場内研修実施状況

研修名	実施日	講 師	出席者数
感染症・食中毒	6 月	管理者	全員
虐待防止	8 月	管理者	全員
非常災害・感染症	1 0 月	管理者	全員
身体拘束	1 2 月	管理者	全員
ハラスメント防止	1 2 月	管理者	全員
個人情報保護	2 月	管理者	全員
事故防止・再発防止	2 月	管理者	全員
入浴介助	3 月	管理者	全員

(7) 地域密着型介護老人福祉施設 第二双葉苑

ア 職場内研修実施状況

研修名	実施日	講 師	出席者数
事故防止研修	1 月 21～31 日	藤井多恵子	11
虐待防止・身体拘束研修	1 月 21～31 日	藤井多恵子	11
感染症及び食中毒研修	1 月 21～31 日	村上真由美	11
ハラスメント研修	11 月 16 日	井上貴英	8
看取ケア研修	11 月 16 日	村上真由美	8
事故防止研修	10 月 25 日	藤井多恵子	8
虐待防止・身体拘束研修	10 月 25 日	藤井多恵子	8
感染症及び食中毒研修	10 月 25 日	村上真由美	8
事故防止研修	10 月 25 日	藤井多恵子	8
高齢者のケアに係る支援研修	8 月 8 日	藤井多恵子	12
虐待防止の視点研修	7 月 23 日	藤井多恵子	11
事故防止研修	5 月 17 日	藤井多恵子	9
虐待防止・身体拘束研修	5 月 17 日	藤井多恵子	9
感染症及び食中毒研修	5 月 17 日	村上真由美	9
認知症研修	4 月 24 日	藤井多恵子	15
	5 月 1 日		
	5 月 8 日		

イ 外部研修・講習会等参加状況

研修名・講習会名	実施日	主催者	出席者数
ユニットリーダー研修	3 月 5 日～ 8 日	日本ユニットケア推進セ ンター	1 名
褥瘡予防におけるポジショ ニング	1 月 30 日	ユニ・チャーム株式会社	2 名
認知症介護基礎研修	9 月 8 日	認知症介護研究・研修仙 台センター	1 名
身体拘束等の適正化の方策	9 月 26 日	北九州市社会福祉研修所	1 名
BCP 作成の実際（入所系）	8 月 22 日	北九州市社会福祉研修所	1 名
とっさの怒りの対処法	8 月 17 日	北九州市社会福祉研修所	1 名
認知症介護基礎研修	7 月 25 日	認知症介護研究・研修仙 台センター	1 名

高齢者虐待防止のための指針策定の実際	7月5日	北九州市社会福祉研修所	1名
認知症介護基礎研修	6月27日	認知症介護研究・研修仙台センター	1名
中堅者・指導者研修	6月22日	北九州市社会福祉研修所	1名
身体拘束廃止の適正化のための指針作成	6月21日	北九州市社会福祉研修所	1名
介護現場の事故防止	6月12日	北九州市社会福祉研修所	1名
事業所防災研修会	6月5日	北九州市市民防災センター	1名
新任職員研修	5月23日	北九州市社会福祉研修所	1名

(8) グループホーム 双葉荘

ア 職場内研修実施状況

研修名	実施日	講師	出席者数
褥瘡予防と処置について	7/27	管理者	6
災害時対策	8/24	管理者	6
緊急時の対応	2/28	管理者	6

イ 外部研修・講習会等参加状況

研修名・講習会名	実施日	主催者	出席者数
24年介護報酬改訂に備える	7/12	日福連	1

(9) 地域密着型介護老人福祉施設 ふたばのその

ア 職場内研修実施状況

研修名	実施日	講師	出席者数
事故防止・身体拘束・虐待防止研修	6.3.9	生活相談員	17
身体拘束廃止研修	5.4.9	生活相談員	17
感染予防研修	5.5.11	看護師	7
感染予防研修	5.8.24	看護師	7

イ 外部研修・講習会等参加状況

研修名・講習会名	実施日	主催者	出席者数
身体拘束廃止の適正化のための指針作成	6月21日	北九州市社会福祉研修所	1
BCP作成の実際（入所系）	8月22日	北九州市社会福祉研修所	1

(10) グループホーム ふたばのその

職場内研修実施状況

研修名	実施日	講師	出席者数
身体拘束について	5. 5. 11	管理者	8
新規採用職員研修	5. 7. 7	管理者	1
令和5年度総括	5. 3. 21	管理者	10

(11) 小規模多機能型居宅介護施設 ふたばのその

ア 職場内研修実施状況

研修名	実施日	講師	出席者数
感染症予防対策 コロナウイルス対策	4 月	感染症対策委員会	9
ヒヤリハット・事故報告書・ 事故再発防止	5 月	事故防止委員会	8
虐待・身体拘束防止	6 月	虐待・身体拘束防止委員会	7
褥瘡	7 月	井田	5
災害時対策	8 月	管理者	6
感染症予防対策 コロナウイルス対策	9 月	感染症対策委員会	5
上半期事故件数報告 事故再発防止	10 月	事故防止委員会	7
虐待・身体拘束防止 認知症	11 月	虐待・身体拘束防止委員会	7
感染症予防対策 0157/ノロウイルス対策/ 嘔吐物処理	12 月	感染症対策委員会	7
接遇/ハラスメント/ プライバシー保護	1 月	管理者	6
緊急時対策	2 月	管理者	
年間事故報告・事故再発防 止	3 月	事故防止委員会	8

イ 外部研修・講習会等参加状況

研修名・講習会名	実施日	主催者	出席者数
実践者研修	R5, 7 月	三幸カレッジ	1
介護支援専門員向け実践力 向上研修	R6, 2 月	福岡県介護支援専門員 協会	1

(12) 小規模多機能型居宅介護施設 ふたばのみのり

ア 職場内研修実施状況

研修名	実施日	講師	出席者数
感染症対策について ～コロナウイルス対策～	4月28日	感染症対策委員会	6名
ヒヤリハット・事故防止・ 事故再発防止について	5月24日	事故防止対策委員会	7名
虐待・身体拘束について	6月28日	虐待・拘束委員会	7名
褥瘡について	7月27日	種子野	6名
災害時対策について	8月24日	種子野	8名
感染症対策について ～コロナウイルス対策～	9月29日	感染症対策委員会	6名
上半期事故報告・ 事故再発防止について	10月13日	事故防止対策委員会	6名
虐待・身体拘束・認知症 について	11月27日	虐待・拘束委員会	6名
感染症対策について ～0157対策・ノロウイルス・ 嘔吐処理等～	12月21日	感染症対策委員会	6名
接遇・ハラスメント・プライ バシー保護について	令和6年 1月29日	種子野（施設管理者）	6名
緊急時対応について	2月29日	種子野（施設管理者）	5名
年間事故報告・ 事故再発防止について	3月28日	事故防止対策委員会	6名

※当日、不参加の職員には資料配布にて伝達講習を実施。

イ 外部研修・講習会等参加状況

研修名・講習会名	実施日	主催者	出席者数
認知症実践者研修	令和5年 10月19日	北九州市社会福祉研修 所	1名
小規模多機能型サービス等 計画作成者研修	令和6年 2月8日	北九州市社会福祉研修 所	1名

11 施設整備の状況

(1) 児童養護施設 双葉学園

ア 施設整備状況(工事関係) 1件10万円以上

施工月	工事名	内 容	施工業者名	金額(千円)
3	境界塀ブロック修繕工事	参葉隣家宅境界ブロック修繕	三和土木造園(株)	176

イ 施設整備状況(備品関係) 1件10万円以上

購入月	品 名	備 考	購 入 先	金額(千円)
8	Panasinic 冷蔵庫 500L	地域小規模：式葉用	ハンズクラフト小倉南	100
8	Panasinic 冷蔵庫 550L	地域小規模：参葉用	ハンズクラフト小倉南	200
8	三菱 ルームエアコン 18畳	地域小規模：式葉リビング用	(株)犬童建設	139
10	アップライトピアノ・椅子	地域小規模：式葉用	寄贈(氏名非掲載希望)	100
3	避難誘導灯・火災報知設備	地域小規模：老葉二階建用	(株)共電社	399
3	避難誘導灯・火災報知設備	地域小規模：老葉平屋用	(株)共電社	298

(2) 児童養護施設 双葉学園みのり

施設整備状況(工事関係) 1件10万円以上

施工月	工事名	内 容	施工業者名	金額(千円)
6	重量シャッターバッテリー交換工事	防火シャッターのバッテリー交換工事	三和シャッター工業(株)	134

(3) 保育所 双葉保育園

ア 施設整備状況(工事関係) 1件10万円以上

施工月	工事名	内 容	施工業者名	金額(千円)
8	エアコン取付工事	給食室のエアコンが壊れたので、更新した。	(株)リズ・トーチク	794
2	屋外照明器具取付	園児の靴箱前に設置(暗くて間違いがあった。)	(株)リズ・トーチク	289

イ 施設整備状況(備品関係) 1件10万円以上

購入月	品 名	備 考	購入先	金額(千円)
5	ノートパソコン	保育室用	(株)トウワデンサン	123
5	ノートパソコン	事務用	(株)トウワデンサン	140

(4) 介護老人福祉施設 双葉苑

ア 施設整備状況(工事関係) 1件 10万円以上

施工月	工事名	内 容	施工業者名	金額(千円)
8月	配膳車	底面ヒータ	フジマック	128
11月	冷温蔵配膳車	底面ヒータ3	フジマック	363
11月	コージェネ設備	ガスコージェネレーション機器 (給排水設備)	西部ガス	3,932
11月	コージェネ設備	ガスコージェネレーション機器 (給排水設備)	ヤンマーエネルギーシステム	3,476

イ 施設整備状況(備品関係) 1件 10万円以上

購入月	品 名	備 考	購入先	金額(千円)
8月	ドアタイプ食器洗浄機	老朽化による更新	タニコー	750
10月	特殊浴槽	老朽化による更新	ホームケアサービス山口	5,148

(6) 地域密着型介護老人福祉施設 第二双葉苑

ア 施設整備状況(工事関係) 1件 10万円以上

施工月	工事名	内 容	施工業者名	金額(千円)
1月	空調修理	換気機能付きバス乾燥機・暖房・換気システム	リズ・トーチク	110

イ 施設整備状況(備品関係) 1件 10万円以上

購入月	品 名	備 考	購入先	金額(千円)
2月	天吊り式テレビ	和楽ユニットテレビ	リズ・トーチク	200
10月	ウォシュレット	和楽居室1号室トイレ	東設備工業	105

(7) 小規模多機能型居宅介護施設 ふたばのみのり

施設整備状況(備品関係) 1件 10万円以上

購入月	品 名	備 考	購入先	金額(千円)
令和5年 5月	浴槽	浴槽の経年劣化の為、交換	横尾器機	2500
令和6年 2月	浴室暖房機	浴室内の暖房機のモーター部の交換が必要であるが、部品の供給不可の為、入れ替えを行う。	リズ・トーチク	118
令和6年 3月	温水器交換	温水器下部発熱体、リミッター交換が必要であり、部品の供給不可の為、入れ替えを行う。	リズ・トーチク	480